

橋梁点検の手引書

令和6年7月

茨城県土木部道路維持課
一般財団法人 茨城県建設技術公社

目 次

| | Page |
|-----------------------------|-------|
| 第1編 基本事項 | 1 |
| 1. 適用の範囲 | 2 |
| 2. 点検の目的 | 3 |
| 3. 点検の種別 | 4 |
| 4. 点検体制及び点検器具 | 6 |
| 5. 安全対策 | 7 |
| 第2編 定期点検 | 8 |
| 1. 定期点検について | 9 |
| 2. 点検の流れ | 10 |
| 3. 定期点検の体制 | 11 |
| 4. 状態の把握 | 11 |
| 5. 損傷程度の評価 | 12 |
| 6. 健全性の診断の区分の決定 | 18 |
| 7. 記録 | 21 |
| 8. 措置 | 22 |
| 第3編 通常点検 | 48 |
| 1. 通常点検について | 49 |
| 2. 点検の流れ | 49 |
| 3. 点検の内容 | 50 |
| 4. 結果の記録 | 51 |
| 付録－1. 定期点検における損傷程度の評価 | 付 1-1 |

第1編 基本事項

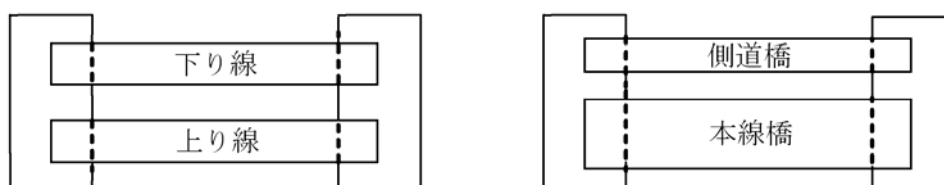
1. 適用の範囲

本書は、道路法(昭和27年法律第180号)第2条第1項に規定する道路における地方公共団体が管理する橋長2.0m以上の橋、高架の道路等(以下「道路橋」という)の点検作業に適用する。

なお本書は、点検作業のうち、通常点検または定期点検の桁橋(溝橋含む)についてこれを適用するものとし、その他の点検については、「3.点検の種別」を参照とする。

【留意事項】

- (1) 本書は、道路法が定める”道路”(高速自動車国道、一般国道、都道府県道、市町村道)にある道路橋を対象とする。
- (2) 橋梁とは、両端が橋台に挟まれた範囲とし、これを1橋として取り扱う。下部工が一体であっても、上部工が分離しているものはそれぞれ1橋とする。
(例. 上下線分離の橋梁、本線橋と側道橋等)



図(解)-1.1 橋梁数を2橋として取り扱う場合の例

- (3) 横断歩道橋の点検にあたっては、「横断歩道橋定期点検要領(技術的助言) R6.3(国土交通省 道路局)」を参考に実施するものとする。なお、参考として定期点検用に用いる記録様式の記載例を p.43~47 に掲載する。

(参考)

本書は、橋長 2.0m以上の橋梁及び溝橋(内空断面の大きさに係わらず最小土被り厚(舗装含む)が 1.0m未満のカルバート)を対象として記述している。

2.0m未満の橋梁については、2.0m以上の橋梁の対応を踏まえて点検等を行い適切に管理することが望ましい。この場合予算の見通しを踏まえ段階的に取り組むことも一つの方法である。

また、橋長 2.0m未満の橋梁であっても、管理上重要な橋梁については、橋長 2.0m以上の橋梁と同様に管理することが望ましい。

2. 点検の目的

橋梁の点検は、安全かつ円滑な交通の確保に影響を及ぼす損傷や損傷の早期発見と効率的かつ効果的な措置を行うための情報を記録蓄積し、効率的な維持管理に資することを目的とする。

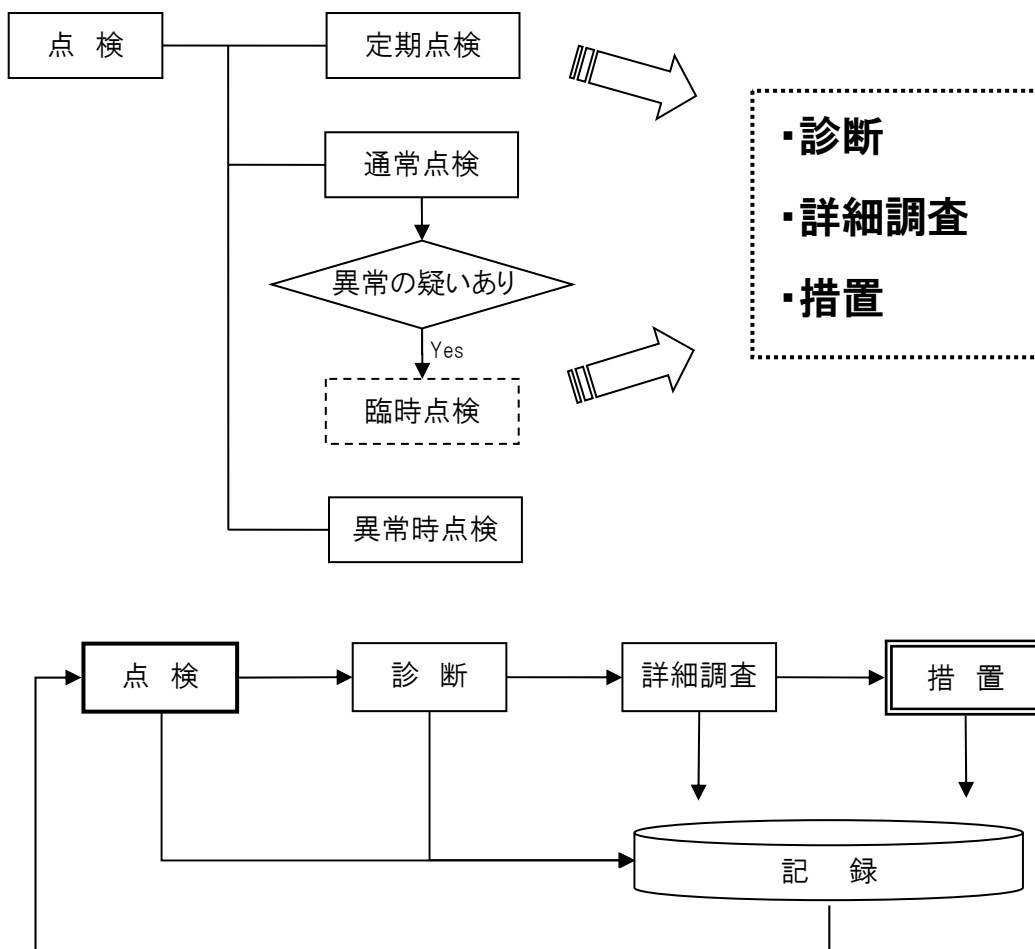
【留意事項】

橋梁の点検の目的は、第一に管理する橋梁の現状を把握し、重大事故につながる損傷を早期に発見して適切な措置をとることで、安全かつ円滑な交通を確保することである。

また、計画的かつ効率的な維持管理のための基礎情報を収集・蓄積し、継続的かつ効果的な措置を行うことを目的とする。

(参考)

橋梁の維持管理における体系を以下に示す。



図(解)-1.2 維持管理における点検の体系

3. 点検の種別

点検の種別は、次のとおりとする。

(1) 定期点検

橋梁の損傷程度の評価、健全性の診断を行うために、原則として5年以内に1回(新設橋は、供用後2年以内に初回の点検を行う。)実施する。

点検方法については、近接目視により行うことを基本とする。

(2) 通常点検

安全性の確認及び損傷の早期発見を図るため、年に1回実施する。

点検方法については、原則として、近接目視により行うが、近接目視が著しく困難な場合は、遠望目視とする。

(3) 臨時点検

通常点検において、異常の疑いがあるところが見つかった場合に実施する。

臨時点検は、定期点検と同等の点検を行うことを基本とする。

(4) 異常時点検

地震、台風、豪雨や大きな事故が発生した場合に、安全性を確認するため臨時的に実施する。特に、異常が確認できる部材について目視点検を実施する。

【留意事項】

点検の頻度は、一般的な頻度を記載している(「表(解)-1.1 点検の実施例」参照)。

表(解)-1.1 点検の実施例

| 年度 \ 点検 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 定期点検 Aグループ | ○ | | | | | ○ | | | | |
| 定期点検 Bグループ | | ○ | | | | | ○ | | | |
| 定期点検 Cグループ | | | ○ | | | | | ○ | | |
| 定期点検 Dグループ | | | | ○ | | | | | ○ | |
| 定期点検 Eグループ | | | | | ○ | | | | | ○ |
| 通常点検 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

定期点検及び通常点検の詳細については、それぞれ第2編、第3編に示した。

本書の点検種別に関する適用範囲は、「表(解)-1.2 点検要領の適用範囲」のとおりとする。

表(解)-1.2 点検要領の適用範囲

| | 桁橋※1 | 特殊橋※2 |
|----------|------|---------------------|
| (1)定期点検 | 本書 | 橋梁定期点検要領に準拠して点検を行う。 |
| (2)通常点検 | 本書 | 本書 |
| (3)臨時点検 | 本書 | 橋梁定期点検要領に準拠して点検を行う。 |
| (4)異常時点検 | 本書 | 本書 |

横断歩道橋の点検にあたっては、「横断歩道橋定期点検要領(技術的助言)(R6.3)(国土交通省 道路局)」を参考に実施するものとする。

※1 桁橋には、溝橋及びラーメン橋も含む

※2 特殊橋は、トラス橋、アーチ橋、吊橋など「桁橋」以外を指す

※異常時点検における地震の規模として震度 5 強以上を目安とする。

※県管理橋梁における異常時点検の対象は、地震発生後の道路パトロールの結果、変状が疑われる緊急輸送道路上の橋長 100m以上の橋梁や跨線橋、跨高速道路橋等を想定する。

4. 点検体制及び点検器具

点検体制は、橋梁点検員、橋梁点検補助員、橋梁点検記録員とする。また、点検器具は、下表のとおりとする。

表-1.1 点検器具

| No. | 名 称 | 規格・寸法 | 備 考 |
|-----|------------|-----------|---------------|
| 1 | デジタルカメラ | | |
| 2 | 記録メディア | デジタルカメラ用 | 必要に応じ |
| 3 | バッテリー(予備) | デジタルカメラ用 | 必要に応じ |
| 4 | デジタルビデオカメラ | | 必要に応じ |
| 5 | レーザー測定器 | 距離測定用 | |
| 6 | クラックゲージ | | |
| 7 | ノギス | デジタル表示 | |
| 8 | コンベックス | | |
| 9 | 水平器・分度器 | | |
| 10 | 双眼鏡 | | |
| 11 | 点検ハンマー | 重量:約 230g | |
| 12 | 梯子 | H=10m 程度 | |
| 13 | 鏡 | | |
| 14 | 懐中電灯 | | |
| 15 | ホワイトボード | A4 | 必要に応じ |
| 16 | ホワイトボード用ペン | | 必要に応じ |
| 17 | バインダー | A3 | |
| 18 | バインダー | A4 | 必要に応じ |
| 19 | チョーク | | |
| 20 | チョークホルダー | | |
| 21 | 防塵眼鏡 | | コンクリート叩き点検時使用 |
| 22 | ヘルメット | | |
| 23 | 安全靴 | | |
| 24 | 胴長靴 | | 必要に応じ |
| 25 | 安全帯 | フルハーネス型 | 必要に応じ |
| 26 | 安全チョッキ | | |
| 27 | 皮手袋・軍手 | | |
| 28 | 道具入れ(腰) | | |

【留意事項】

点検の実施にあたって、一般的に必要な器具を「表-1.1 点検器具」に例示した。なお、高速道路をまたぐ橋梁や、鉄道上の橋梁点検においては、安全対策上、保安要員が必要になる。この場合、点検費用に加えて保安費用も必要となるので事前に管理者と十分協議を行う必要がある。

5. 安全対策

点検作業は、道路交通、第三者及び点検に従事する者に対して適切な安全対策を講じて行うものとする。

【留意事項】

点検作業は、供用下で行うことが多いことから、道路交通、第三者及び点検に従事する者の安全確保を第一に、労働基準法、労働安全衛生法その他関連法規を厳守するとともに、現地の状況をふまえた適切な安全対策を講じ、点検を行うものとする。

点検に際して、注意すべき主な事項は次のとおりである。

- ・ 高さ2m 以上で作業を行う場合、点検に従事する者は必ずフルハーネス型安全帯を使用する。
- ・ 足場、橋梁検査路(上部構造検査路、下部構造検査路、昇降設備)、手摺、ヘルメット、安全帯の点検を始業前に必ず行う。なお、橋梁検査路の腐食箇所から点検作業者が墜落して死亡した事例もある。
- ・ 足場、通路等は常に整理整頓し、安全通路の確保に努める。
- ・ 道路あるいは通路上での作業には、必ず安全チョッキを着用し、必要に応じて交通誘導警備員を配置し、作業区域への第三者の立ち入りを防止する。
- ・ 高所作業では、用具等を落下させないようにストラップ等で結ぶ等、十分注意する。
- ・ 密閉場所で作業する場合は、酸欠状態等を調査の上実施する。
- ・ 東日本高速道路(株)、東日本旅客鉄道(株)、道路管理者及び河川管理者等と事前に点検計画について協議する。

点検時は、通常、橋面あるいは桁下等に自動車交通や列車交通があることから、「道路工事保安施設設置基準」(令和元年 5 月 国土交通省 関東地方整備局)および「土木工事保安対策技術指針」(平成 18 年 10 月 茨城県 土木部)、「路上工事看板設置関連通達改正のポイント(事例集)」(平成 18 年 9 月 国土交通省 関東地方整備局)等に基づき、これらに十分留意し、安全を確保して作業を行う。

第2編 定期点検

1. 定期点検について

点検間隔は5年に1回の頻度を基本とする。(新設橋は、供用後2年以内に初回の点検を行う。)なお、必要に応じて5年より短い間隔で行うことも検討すること。

【解説】

定期点検に加え、日常的な対象の状態の把握や、事故や災害等による変状の把握等については、5年毎に行う定期点検の内容によらず、適宜適切に実施する必要がある。

新設橋については、供用後の初期状態や初期ひび割れの確認を行いその後の損傷の進展を明らかにすることを目的として、供用後2年以内に初回の点検を行うこととする。

2. 点検の流れ

定期点検は、下図のフローに従って実施するものとする。

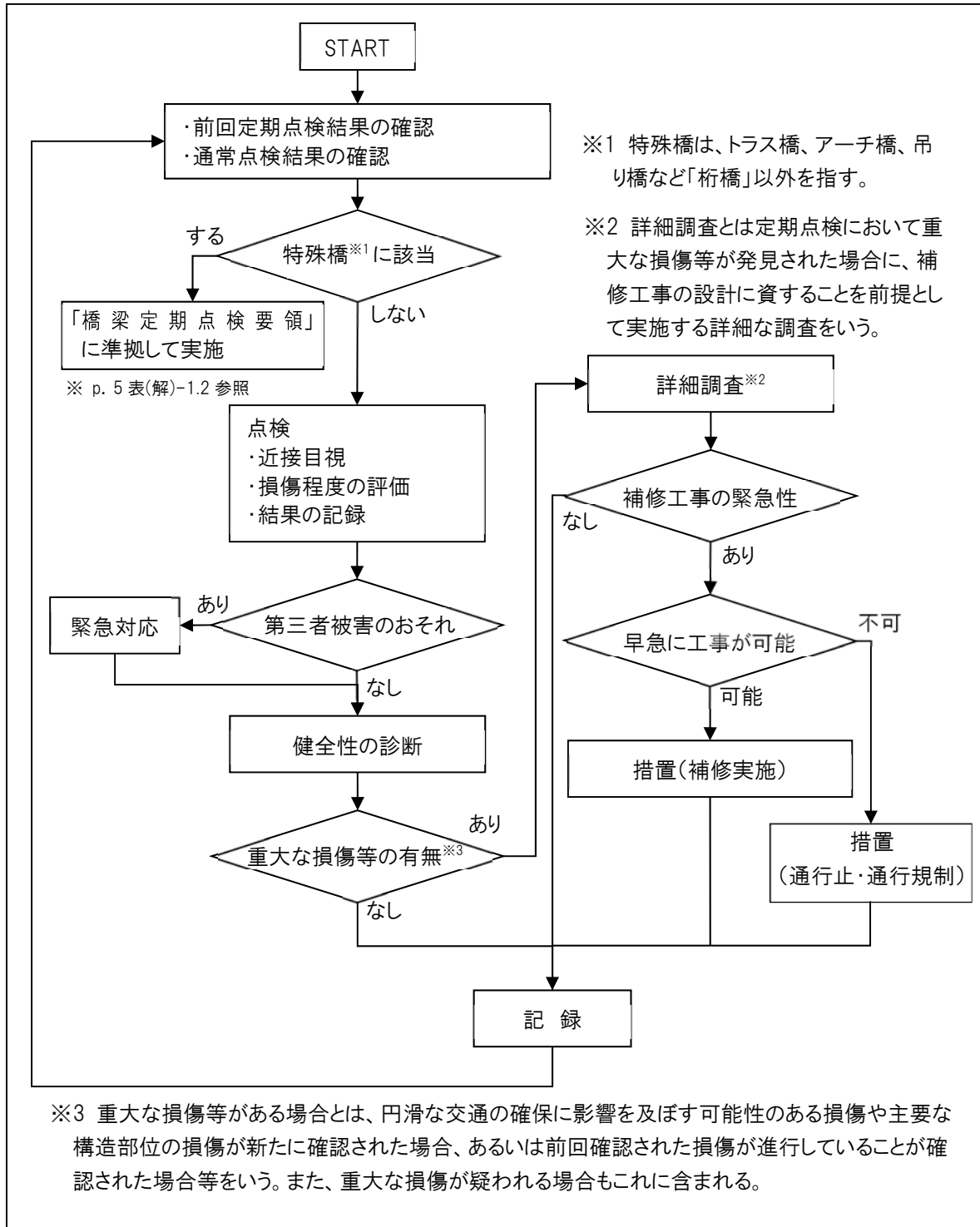


図-1.1 定期点検の流れ

【解説】

- (1) 基本的に定期点検は、橋梁に精通した職員又は、橋梁点検員が行い、点検結果から今後の方針を決定する「診断」も併せて実施することとする。
- (2) トラス・アーチ等の特殊橋梁については、「橋梁定期点検要領」(国土交通省 道路局 国道・技術課)に準拠して点検を行う。

3. 定期点検の体制

定期点検は、健全性の診断の区分を適切に行うために必要な知識と技能を有する者による体制で行うこと。

【解説】

状態の把握やその他様々な情報を考慮した性能の見立てや今後の予測、健全性の診断の区分の決定及び将来の為に残すべき記録の作成などの法定点検の品質を左右する行為については、それらが適切に行えるために必要と考えられる知識と技能を有する者によらなければならない、以下のような要件が考えられる。

- ・道路橋に関する相応の資格または相当の実務経験を有する
- ・道路橋の設計、施工、管理に関する相当の専門知識を有する
- ・道路橋の定期点検に関する相当の技術と実務経験を有する

4. 状態の把握

定期点検では、健全性の診断の区分の決定を適切に行うために必要と考えられる道路橋の点検時点での状態に関する情報を適切な方法で入手すること。このとき、定期点検時点における耐荷性能、耐久性能、その他の使用目的との適合性の充足に関する評価に必要と考えられる情報を、近接目視、または近接目視による場合と同等の評価が行える他の方法により収集すること。

【解説】

定期点検では、道路橋の現在の状態について、必要な知識と技能を有する者が近接目視を基本として把握を行った上で、その他の様々な情報や条件を考慮し、最終的に告示に定義される「健全性の診断の区分」のいずれに該当するのかを決定することが求められる。

しかし、最終的に「健全性の診断の区分」の決定が同等の信頼性で行えることが明らかな場合には、必ずしも全ての部材について近接目視による状態の把握を行わなくてもよい場合もあると考えられ、法令はこれを妨げるものではない。健全性の診断の区分の決定を適切に行うために必要とされる近接の程度や打音や触診などのその他の方法を併用する必要性については、点検者が検討し、道路管理者が判断することとなる。

近接目視による場合と同等の評価が行える方法については、点検支援技術性能カタログ(橋梁・トンネル)(国道交通省 道路局)等を参考に選定するとよい。

5. 損傷程度の評価

定期点検の結果、損傷を発見した場合は、部位・部材毎、損傷の種類毎に損傷程度の評価を行う。

【解説】

- (1) 損傷程度の評価は単純桁、連続桁にかかわらず、1 径間ごとに実施し評価するものとする。定期点検における損傷の種類と評価方法を表(解)-1.1 に示す。また、各損傷の種類の評価方法の詳細は「付録-1.定期点検における損傷の評価」を参考とする。

表(解)-1.1 定期点検における損傷の種類と評価方法

| | 損傷の種類 | 評価方法 | 備考 |
|----------|------------------|------|------------------|
| 鋼部材 | 腐食 | a～e | |
| | 亀裂 | a～e | |
| | ゆるみ・脱落 | a～e | |
| | 破断 | a～e | |
| | 防食機能の劣化 | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| コンクリート部材 | ひびわれ | a～e | |
| | 剥離・鉄筋露出 | a～e | |
| | 漏水・遊離石灰 | a～e | |
| | 抜け落ち | a～e | |
| | 床版ひびわれ | a～e | |
| | うき | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| その他 | 遊間の異常 | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 路面の凹凸 | a～e | |
| | 舗装の異常 | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 支承部の機能障害 | a～e | |
| | その他 [※] | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 補修・補強材の損傷 | a～e | |
| | 定着部の異常 | a～e | |
| | 変色・劣化 | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 漏水・滞水 | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 異常な音・振動 | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 異常なたわみ | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 変形・欠損 | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 土砂詰まり | - | 損傷があれば、その旨を記載する。 |
| | 沈下・移動・傾斜 | a～e | |
| 洗掘 | a～e | | |

※ 不法占用、落書き、鳥のふん害、目地材などのずれや脱落、火災による損傷等をいう。

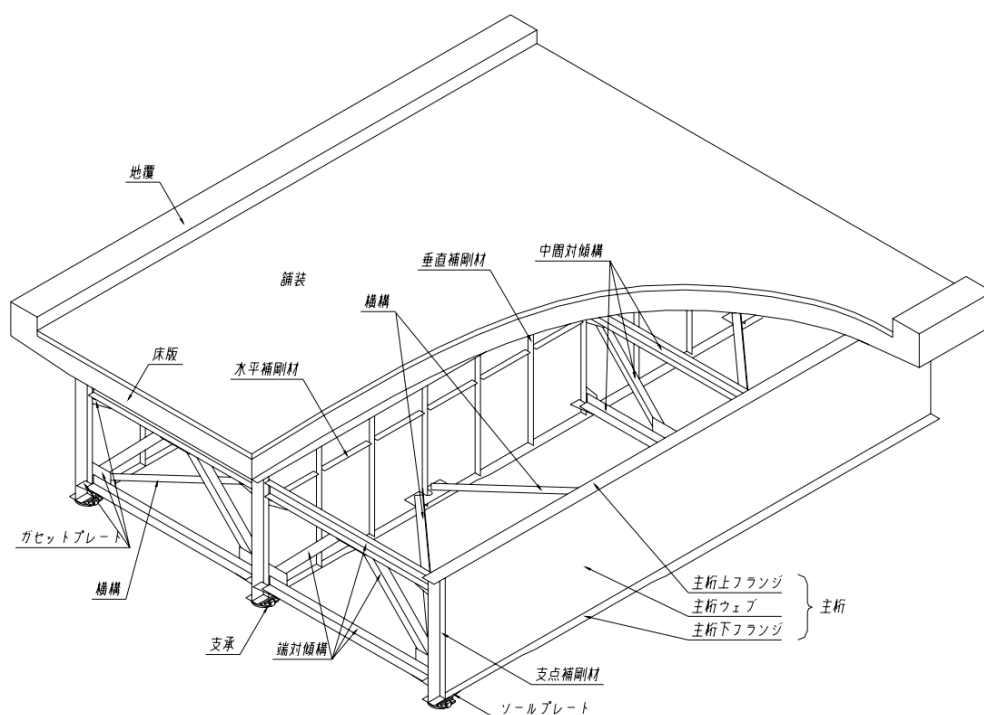
なお、本書による調査において、火災痕などの特異な変状や供用の安全性や第三者被害が懸念されるような異常を確認した場合には、別途、点検や詳細調査が実施されるよう適切な対応を行うことが重要である。

- (2) 本書は、近接目視を行うことを基本としている。損傷程度の評価を行う部材については、表(解)-1.2「損傷程度の評価を行う部材一覧」のとおりとする。

表(解)-1.2 損傷程度の評価を行う部材一覧

| 部位・部材区分 | | 評価単位の区別 |
|---------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 上部構造 | 主桁 | 主桁 |
| | 主桁ゲルバー部 | 主桁 |
| | 縦桁 | 主桁 |
| | 横桁 | 横桁 |
| | 対傾構 | その他 |
| | 横構 | その他 |
| | 床版 | 床版 |
| | 主構トラス(格点・コンクリート埋込部を含む) | 主桁 |
| | アーチ(格点・コンクリート埋込部を含む) | 主桁 |
| | PC定着部 | 主桁 |
| | その他 | その他 |
| 下部構造 | 橋脚 | 下部構造 |
| | 橋台 | 下部構造 |
| | 基礎 | 下部構造 |
| | その他 | その他 |
| 上下部接続部 | 支承部 | 上下部接続部 |
| その他(フェールセーフ) [※] | フェールセーフ [※] が設けられている場合 | その他(フェールセーフ) [※] |
| その他(伸縮装置) | 伸縮装置 | その他(伸縮装置) |
| 路上 | 舗装 | その他 |
| | 高欄 | その他 |
| | その他 | |
| 排水施設 | | その他 |
| その他 | | その他 |

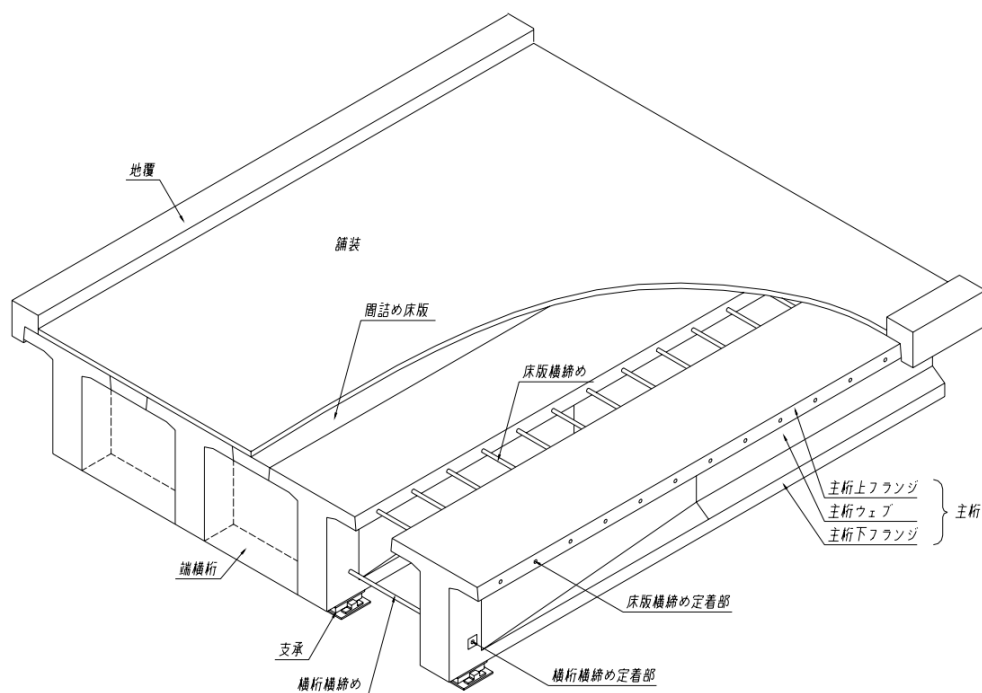
※フェールセーフとは落橋防止構造や変位制限構造のことをいう



図(解)-1.2 鋼橋の代表的な部材名称

(3) 図(解)-1.2 に鋼橋の代表的な部材名称を示す。一概に損傷部位の限定はできないが、単純桁では桁端部に損傷が顕著に表れる傾向がある。また支点となる桁端部の変状はその程度や内容によっては橋の健全性が大きく左右される。

伸縮装置等からの漏水や土砂の影響を受けやすい支点補剛材と主桁下フランジの交差部、ガゼットプレート取り付け部等は局所的な腐食や亀裂損傷が生じる可能性が高い一方で、漏水や土砂・塵埃の堆積等によって部材の状態を容易に視認することが困難な場合があるので注意が必要となる。



図(解)-1.3 コンクリート橋の代表的な部材名称

- (4) 図(解)-1.3 にコンクリート橋の代表的な部材名称を示す。コンクリート桁の損傷は、ひびわれの原因によって方向、性状が様々であり、その発生部位も異なる。その一方でせん断ひびわれなどひびわれによっては橋の健全性を著しく阻害している場合があるため、全体のひびわれを確認することが必要である。

PC 桁の場合、プレストレス状態が橋の健全性に大きく影響することから、横桁横締め定着部、床版横締め定着部など、PC 鋼材が損傷していることを示す場合がある定着部の異常については、概略的に健全性を把握する目的であっても全箇所を対象に確認することが望ましい。

(参考)評価要領

本書では、部材等の状態を、橋の健全度に及ぼす影響を概略的に把握できるように、損傷内容や部材の種類毎に、それぞれいくつかの区分に評価してデータ化する。

以下に、「橋梁定期点検要領 (H31.3)」と対比した本書による評価要領を示す。

| 橋梁定期点検要領(H31.3) | | | | 本書 | | |
|-----------------|-----------|---------|---|-------------|-----------|---------|
| 鋼部材の損傷 | 腐食 | a~e | ⇒ | 鋼部材の損傷 | 腐食 | a~e |
| | 亀裂 | a,c,e | ⇒ | | 亀裂 | a,c,e |
| | ゆるみ・脱落 | a,c,e | ⇒ | | ゆるみ・脱落 | a,c,e |
| | 破断 | a,e | ⇒ | | 破断 | a,e |
| | 防食機能の劣化 | a~e | | | 防食機能の劣化 | - |
| コンクリート部材の損傷 | ひびわれ | a~e | ⇒ | コンクリート部材の損傷 | ひびわれ | a~e |
| | 剥離・鉄筋露出 | a,c,d,e | ⇒ | | 剥離・鉄筋露出 | a,c,d,e |
| | 漏水・遊離石灰 | a,c,d,e | ⇒ | | 漏水・遊離石灰 | a,c,d,e |
| | 抜け落ち | a,e | ⇒ | | 抜け落ち | a,e |
| | 床版ひびわれ | a~e | ⇒ | | 床版ひびわれ | a~e |
| | うき | a,e | | | うき | - |
| その他の損傷 | 遊間の異常 | a,c,e | ⇒ | その他の損傷 | 遊間の異常 | - |
| | 路面の凹凸 | a,c,e | ⇒ | | 路面の凹凸 | a,c,e |
| | 舗装の異常 | a,c,e | ⇒ | | 舗装の異常 | - |
| | 支承部の機能障害 | a,e | ⇒ | | 支承部の機能障害 | a,e |
| | その他 | a,e | | | その他 | - |
| 共通の損傷 | 補修・補強材の損傷 | a,c,e | ⇒ | 共通の損傷 | 補修・補強材の損傷 | a,c,e |
| | 定着部の異常 | a,c,e | ⇒ | | 定着部の異常 | a,c,e |
| | 変色・劣化 | a,e | | | 変色・劣化 | - |
| | 漏水・滞水 | a,e | | | 漏水・滞水 | - |
| | 異常な音・振動 | a,e | | | 異常な音・振動 | - |
| | 異常なたわみ | a,e | | | 異常なたわみ | - |
| | 変形・欠損 | a,c,e | | | 変形・欠損 | - |
| | 土砂詰まり | a,e | | | 土砂詰まり | - |
| | 沈下・移動・傾斜 | a,e | ⇒ | | 沈下・移動・傾斜 | a,e |
| | 洗掘 | a,c,e | ⇒ | | 洗掘 | a,c,e |

表(解)-1.3 点検・評価項目(変状の種類)

| 部位・部材区分 | | 対象とする項目(変状の種類) | | |
|-------------------------------|-------------------|-----------------------|-----------------------|---------|
| | | 鋼 | コンクリート | その他 |
| 上部構造 | 主桁 | 腐食 亀裂 破断 その他 | ひびわれ 床版ひびわれ その他 | |
| | 横桁 | | | |
| | 縦桁 | | | |
| | 床版 | | | |
| | その他 | | | |
| 下部構造 | 橋脚 | | ひびわれ その他 | |
| | 橋台 | | | |
| | 基礎 ^{※1} | | | |
| | その他 ^{※1} | | | |
| 上下部 接続部 | 支承部 | | | 支承の機能障害 |
| その他(フェールセーフ) ^{※2} | | | | |
| その他(伸縮装置) ^{※3} | | | | |
| 路上 | | | | |
| その他 | | | | |

※1 洗掘、沈下・移動・傾斜、設計地盤面に対応する地盤面の変状、周辺地盤の変状

※2 フェールセーフが設けられている場合に所定の機能を適正に発揮できるかの観点

※3 伸縮装置の走行性確保の観点

6. 健全性の診断の区分の決定

(1) 法定点検を行った場合、「トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示」の定義に従って、表-1.4に掲げる「健全性の診断の区分」のいずれに該当させるのかを決定しなければならない。

表-1.4 健全性の診断の区分

| 区分 | | 定義 |
|-----|--------|--|
| I | 健全 | 道路橋の機能に支障が生じていない状態。 |
| II | 予防保全段階 | 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。 |
| III | 早期措置段階 | 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。 |
| IV | 緊急措置段階 | 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。 |

(2) 健全性の診断の区分の決定にあたっては、道路橋を取り巻く状況も勘案して、道路橋が次回定期点検までに遭遇する状況を想定し、どのような状態となる可能性があるのかを推定するとともに、その場合に想定される道路機能への支障や第三者被害の恐れなども踏まえて、効率的な維持や修繕の観点から、次回定期点検までに行うことが望ましいと考えられる措置の内容を検討すること。

(3) 健全性の診断の区分の決定には、定期的あるいは常時の監視、維持や補修・補強などの修繕、撤去、通行規制・通行止めなどの措置の内容を反映すること。

(4) 定期点検では、施設単位毎に健全性の診断の区分を決定するものとする。
このとき、「橋、高架の道路等の技術基準(道路橋示方書 H29 年)」に規定する、上部構造、下部構造及び上下部接続部のそれぞれについて、想定する状況に対してどのような状態となる可能性があるかと推定されるかを検討した結果も考慮することが望ましい。

【解説】

(1) 健全性の診断の区分の I～IV に分類する場合の措置の基本的な考え方は以下のとおりである。

I：次回定期点検までの間、予定される維持行為等は必要であるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態をいう

II：次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策を行うことが望ましい状態をいう

III：次回定期点検までに、橋の構造安全性の確保や第三者被害の防止のための措置等を行う必要がある状態をいう

IV：緊急に対策を行う必要がある状態をいう

なお、「道路橋毎の健全性の診断の区分」を行う単位は以下を基本とする。
(「道路施設現況調査要項(国土交通省道路局企画課)」を参考にすることができる。)

- ① 道路橋種別毎に1橋単位とする。
- ② 道路橋が1箇所において上下線等分離している場合は、分離している道路橋毎に1橋として取り扱う。
- ③ 行政境界に架設されている場合で、当該道路橋の道路管理者が行政境界で各々異なる場合も管理者毎ではなく、1つの道路橋として1橋と取り扱う。(高架橋も同じ)

道路利用者の安全確保や第三者被害予防等の観点から、うき・剥離や腐食片・塗膜片等に対して定期点検の際に応急的に措置を実施することが望ましい。何らかの応急措置を行った場合には、その措置後の状態に対して、次回の点検までに想定する状況に対して、どのような状態となる可能性があるのかといった技術的な評価を行った結果を用いて区分すればよい。

(2) どのような措置を行うことが望ましいと考えられるのかについては、対象の道路橋のどこにどのような変状が生じているのかという状態の把握結果も用いて、次回定期点検までに道路橋が遭遇する状況に対して、どのような状態となる可能性があると言えるのかの推定結果、さらには、そのような事態に対してその道路橋にどのような機能を期待するのかといった道路機能への支障や第三者被害の恐れ、あるいは効率的な維持や修繕の観点からはいつどのような措置をするべきなのかといった検討の結果から総合的に判断する必要がある。

また、この結果を基に「健全性の診断の区分」を決定する。

(3) 措置には、定期的あるいは常時の監視、補修や補強などの道路橋の機能や耐久性等を維持又は回復するための維持、修繕のほか、撤去、緊急に措置を講じることができない場合などの対応として、通行規制・通行止めがある。

まず、定期点検で得られた情報から推定した道路橋に対する技術的な評価に加えて、当該道路橋の道路ネットワークにおける位置づけや中長期的な維持管理の戦略なども総合的に勘案して道路管理者の意思決定としての措置方針を検討する。そして、その結果を基に「健全性の診断の区分」を決定する。

なお、定期点検の結果、一旦「健全性の診断の区分」を確定させても、その後、詳細調査などで情報が追加や更新されたり、地震等によって状態が変化したりした結果、その橋に対する次回点検までの措置の考え方が変更された場合には、その時点で、速やかに「健全性の診断の区分」も見直しを行い、必要に応じて記録も更新することが望ましい。

監視は、対策を実施するまでの期間、その適切性を確認した上で、変状の挙動を追跡的に把握し、以て道路橋の管理に反映するために行われるものであり、これも措置の一つであると位置づけられる。また、道路橋の機能や耐久性を維持するなどの対策と組み合わせるのがよく、道路管理者は適切な道路橋の管理となるように検討する必要がある。

(4) 橋全体で以下のような役割を主として果たしていると考えられる構造部分を推定し、想定する状況において、それぞれの役割が果たされるかどうかという観点で状態の評価を行う。

- ・上部構造:道路そのものとして自動車等の通行荷重を載荷させる部分を提供する役割
- ・下部構造:上部構造を支える役割をもつ上下部接続部を適切な位置に提供する役割
- ・上下部接続部:上部構造の支点となりその影響を下部構造に伝達する役割

なお、法定点検では、その一環で通常行われる程度の状態の把握、それらを基礎情報として行った性能の見立てや将来予測の結果が、健全性の診断の区分の主たる根拠となり、そこでは、構造解析を行ったり、精緻な測量、あるいは高度な検査技術による状態等の厳密な把握を行ったりすることまでは必ずしも求められていない。

想定する状況としては、起こりえないとは言えないまでも通常の供用では極めて起こりにくい程度の重量の車両の複数台同時載荷などの過大な活荷重状況、一般に道路管理者が緊急点検を行う程度以上の規模が大きく稀な地震、橋の条件によっては被災可能性があるような稀な洪水等の出水の状況のうち、立地条件から該当するものを想定することを基本とする。このほか、道路橋の構造条件等によっては被災可能性があるような台風等の暴風についても想定するなど、必要に応じて道路橋の状態や構造条件等を踏まえて想定する状況を設定する。

想定する状況の例(参考)

- 活荷重: 過積載ダンプの連続走行等 過大な活荷重が載荷されるような状況
- 地震: 震度 5 強以上(例)等の緊急点検を行う程度以上の地震が起きた状況
- 豪雨・出水: 特別警報レベルの豪雨や稀な洪水等による出水など立地条件により被災が想定される状況(洗掘や沈下等)
- その他: 構造によっては、台風等による暴風で風荷重の影響が懸念される状況

想定結果については、近接目視による点検から得られる情報から点検者の主観的評価としての技術的水準及び信頼性のものでよい。構造計算や復元設計といったレベルで評価する必要はない。

そして、それらの状況に対して、どのような状態となる可能性があるのかを推定した結果を踏まえ、道路機能を提供する観点から、構造安全性、走行安全性及び第三者被害の恐れなどについて、定期点検時点での見立てとして、何らかの変状が生じる可能性は低いといえるのか(A)、致命的な状態となる可能性が高いと言えるのか(C)、あるいはそのいずれでもないのか(B)、について知り得た情報のみから概略的な評価を行う。

- A: 何らかの変状が生じる可能性は低い
- B: 致命的な状態となる可能性は低いものの何らかの変状が生じる可能性がある。
- C: 致命的な状態となる可能性がある。

ここでいう、致命的な状態とは、安全な通行が確保できず通行止めや大幅な荷重制限などが必要となるような状態であり、例えば、落橋までには至らないまでも、支点部で支承や主桁に深刻な変状が生じて通行不能とせざるを得ないような状態、あるいは下部構造の破壊や不安定化などによって上部構造を安全に支持できていない状態なども考えられる。また、橋の構造安全性の観点からの状態以外にも、大きな段差や路面陥没の発生によって通行困難となるなどの走行性の観点からの状態も含まれる。具体的に想定される状態やそのときに橋あるいは道路としての機能がどれだけ損なわれる危険性があるのかは、橋本体及びそれらと一体で評価すべき範囲の地盤の条件などによっても異なるため、それぞれの橋毎に個別に判断する。

「想定する状況に対してどのような状態になる可能性があるのか」の概略評価であるABCの評価結果は、このように、主として道路橋本体の状態に着目して行われるものであり、道路橋本体等から腐食片やコンクリート片の落下、付属物等の脱落などが生じることで第三者被害が生じる恐れがあるような場合には、速やかに応急措置等が行われるべきであるため、ABCの評価にあたっては考

慮しない。ただし、措置が行われていない状態が継続されると見込まれる場合には、この限りではない。

このほか、「健全性の診断の区分」の決定にあたっては、次回定期点検までの状態の変化やその間の性能の見立てだけでなく、予防保全の実施を検討すべきかどうかといった中長期的な視点からの維持管理計画において何らかの措置を行うことが合理的と考えられる場合もある。そのため、道路管理者の措置に対する考え方によって該当区分を決める「健全性の診断」にあたっては、例えば、予防保全の有効性の観点で特に注意が必要な、疲労、塩害、アルカリ骨材反応、防食機能の低下、洗掘などに該当するかどうかやこれらに関連する過去の補修補強等の経緯については注意するとともに、「健全性の診断の区分」の決定にも大きく関わることが多いこれらの事象への該当の有無やそれらと健全性の診断の区分の決定との関係について記録を残すものとする。

7. 記録

(1)定期点検の結果は、供用中の被災時の対応を含む適切な維持管理を行う上で必要と考えられる以下の情報を基本として、活用可能な形で記録しておくこと。

- ・橋梁名
- ・路線名
- ・所在地
- ・設置位置(緯度経度)
- ・施設ID
- ・管理者名
- ・路下条件
- ・代替路の有無
- ・道路の種類(自動車専用道路か一般道かの別)
- ・緊急輸送道路
- ・占有物件
- ・橋梁諸元(架設年度、橋長、幅員、橋梁形式)
- ・告示に基づく健全性の診断の区分
- ・定期点検実施年月日(状態把握を行った末日)
- ・定期点検者(定期点検を行う知識と技能を有する者)

(2)想定する状況に対する上部構造、下部構造及び上下部接続部などの構造安全性、予防保全の必要性、第三者被害の発生の可能性などを含む、6. で検討した措置に関する内容について技術的観点からの見解を記録しておくことが望ましい。

【解説】

定期点検の結果は、維持・修繕等の計画を立案する上で参考とする基礎的な情報であり、適切な方法で記録し、蓄積しておく必要がある。

法令の趣旨からは、維持・修繕等の計画を適切に立案するうえで不可欠と考えられる情報として、想定する状況に対する道路橋の構造安全性、予防保全の必要性、第三者被害の発生の可能性などについての道路橋の状態に関する所見、及び、総合的に判断される道路橋の次回定期点検までの措置の必要性に関する所見を含める。

(様式1様式2様式3参照)

このとき、「6. 健全性の診断の区分の決定(4)」で望ましいとされているとおり、橋の状態等に対

する技術的な評価が、どのような理由で橋全体として決定される健全性の診断の区分の決定に影響したのかなどの主たる根拠との関係がわかるように、橋の耐荷性能を担う上部構造、下部構造及び上下部接続部のそれぞれについても、想定する状況に対してどのような状態になると見込まれるのかの推定結果を記録するものとする。また、橋の耐荷性能を直接担う構造部分以外にも、フェールセーフが機能することを期待する状態となることを想定して設置されたフェールセーフに対する評価や走行安全性に大きく影響する伸縮装置に対する評価などは、措置の必要性の判断にも影響することが多いと考えられることから、それぞれ記録するものとする。

そして、上記のような「健全性の診断の区分」の決定のために行った様々な評価の結果から、どのように最終的な「健全性の診断の区分」の決定につながったのかの関係性についての見解は、適切な措置の実施のためにも重要であり、所見として記録に残すものとする。

なお、維持管理に係わる法令(道路法施行規則第4条の5の6)に規定されているとおり、措置を講じたときはその内容を記録しなければならない。措置の結果も、維持・修繕等の計画を立案する上で参考となる基礎的な情報であり、措置の内容や結果も適切な方法で記録し、蓄積しておく必要がある。

8. 措置

道路の効率的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を講ずる。

【解説】

(1) 措置には、補修や補強などの道路橋の機能や耐久性等を維持又は回復するための対策のほか、撤去、定期的あるいは常時の監視、緊急に措置を講じることができない場合などの対応として、通行規制・通行止めがある。

措置にあたっては、最適な方法を道路橋の道路管理者が総合的に検討する。定期点検は近接目視を基本とした限定された情報で健全性の診断を行っていることに留意が必要である。たとえば、対策方法の検討のために追加で実施した調査の結果を踏まえれば、橋の措置方針が変わることも想定される。その場合には、橋の健全性の診断区分も適切に見直すことができる。

監視は、対策を実施するまでの期間、その適切性を確認した上で、変状の挙動を追跡的に把握し、以て道路橋の管理に反映するために行われるものであり、これも措置の一つであると位置づけられる。たとえば道路橋の機能や耐久性を維持するなどの対策と監視を組み合わせることで措置を行うことも考えられ、監視を行うときも道路管理者は適切な措置となるように検討する必要がある。

表(解)-1.5 主な対策の例

| 材料の種類 | 変状の種類 | 措置(例) |
|----------|-----------------------|--------------------------------|
| 鋼部材 | 腐食 亀裂 破断 その他 | グラインダー処理 ストップホール 添接板補強 等 |
| コンクリート部材 | ひびわれ 床版ひびわれ その他 | ひび割れ補修工法 断面修復工法 床版増厚工法 等 |

※上記は対策例であり、状況に応じて適切な措置を行うこと。

付録 様式集

橋梁諸元と総合検査結果

様式 1-1

| | | | | | | | |
|-----|---|--|-----|---|----|----|--|
| 橋梁名 | | | 路線名 | | | 管轄 | |
| 所在地 | 自 | | 距離標 | 自 | km | | |
| | 至 | | | 至 | km | | |

| | | | | | | | | | |
|---------|------|---|----------|-----|--------|---------|-----|-----|-----|
| 供用開始日 | | | 活荷重・等級 | | | 適用示方書 | | | |
| 橋長 | m | | 総径間数 | 径間 | | | | | |
| 上部構造形式 | | | 下部構造形式 | | | 基礎形式 | | | |
| 交通条件 | 調査年 | | | | 大型車混入率 | | | | |
| | 交通量 | | | | 荷重制限 | | | | |
| 幅員 | 全幅員 | m | 地覆幅 | 歩道幅 | 車道幅・車線 | 車道幅・車線 | 歩道幅 | 地覆幅 | 中央帯 |
| | 有効幅員 | m | | | | | | | |
| 海岸からの距離 | | | 緊急輸送路の指定 | | | 優先確保ルート | の指定 | | |
| 路下条件 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 全体図 | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 径間別一般図 | | | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

径間別一般図

径間別一般図

| 橋梁管理番号 | | 橋梁名 | | | | 調査年 | | 上部工構造形式 | | | | | | | |
|--------|------|--------|----|----|-----|-------------|------|---------|---------|-----|----------|------|-------|----|-----|
| 調査結果 | | 径間番号 | | | | | | | | | | | | | |
| 損傷の項目等 | | 鋼部材の損傷 | | | | コンクリート部材の損傷 | | | | その他 | | 写真番号 | その他損傷 | 備考 | |
| | | 腐食 | 亀裂 | 破断 | その他 | ひびわれ | パターン | 床版ひびわれ | 剥離・鉄筋露出 | その他 | 支承部の機能障害 | | | | その他 |
| 主桁 | 01 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 02 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 03 | | | | | | | | | | | | | | |
| 横桁 | 01 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 02 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 03 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 04 | | | | | | | | | | | | | | |
| 床版 | 01 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 02 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 03 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 04 | | | | | | | | | | | | | | |
| 下部工 | 01 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 02 | | | | | | | | | | | | | | |
| 支承 | 0101 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 0102 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 0103 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 0201 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 0202 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 0203 | | | | | | | | | | | | | | |
| 高欄 | 01 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 02 | | | | | | | | | | | | | | |
| 舗装 | 01 | | | | | | | | | | | | | | |
| 伸縮装置 | 01 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 02 | | | | | | | | | | | | | | |

| 損傷図 | | | | |
|--------|-----|-----|-------|--|
| 橋梁管理番号 | 橋梁名 | 路線名 | | |
| | | | 損傷図No | |
| | | | 径間番号 | |
| | | | | |
| | | | 損傷図No | |
| | | | 径間番号 | |
| | | | | |
| | | | 損傷図No | |
| | | | 径間番号 | |
| | | | | |

損傷写真台帳

様式2-3

| 橋梁管理番号 | 橋梁名 | 路線名 |
|--------|----------|-----|
| | 写真番号 | |
| | 径間番号 | |
| | 部材名称 | |
| | 部材番号 | |
| | 損傷発生位置 | |
| | メ モ | |
| | | |
| | 写真番号 | |
| | 径間番号 | |
| | 部材名称 | |
| | 部材番号 | |
| | 損傷発生位置 | |
| | メ モ | |
| | | |
| | 写真番号 | |
| | 径間番号 | |
| | 部材名称 | |
| | 部材番号 | |
| | 損傷発生位置 | |
| | メ モ | |
| | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|------|--|------|--|--------|--|----------|--|--------|--|
| 橋梁名・所在地・管理者名等 | | 橋梁名 | | 所在地 | | 起点側 | | 緯度 | | 施設ID | |
| (フリガナ) | | 路線名 | | 踏下条件 | | 代替路の有無 | | 自専道or一般道 | | 緊急輸送道路 | |
| 管理者名 | | 踏下条件 | | 踏下条件 | | 代替路の有無 | | 自専道or一般道 | | 緊急輸送道路 | |
| 占有物件(名称) | | 踏下条件 | | 踏下条件 | | 代替路の有無 | | 自専道or一般道 | | 緊急輸送道路 | |

| | | | | | |
|-----------------|--|------|--|------|--|
| 道路橋毎の健全性の診断 | | 橋梁諸元 | | 橋梁形式 | |
| 告示に基づく健全性の診断の区分 | | 架設年度 | | 橋長 | |
| | | 橋長 | | 幅員 | |
| | | 橋梁形式 | | | |

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

| | | | | | | | |
|--------------|--|-----------|--|--------|--|-------|--|
| 技術的な評価結果 | | 定期点検実施年月日 | | 想定する状況 | | 定期点検者 | |
| | | | | | | | |
| 活荷重 | | 地震 | | 豪雨・出水 | | その他 | |
| 橋(全体として) | | 写真番号 | | 写真番号 | | () | |
| 上部構造 | | 写真番号 | | 写真番号 | | () | |
| 下部構造 | | 写真番号 | | 写真番号 | | () | |
| 上下部接続部 | | 写真番号 | | 写真番号 | | () | |
| その他(フェールセーフ) | | 写真番号 | | 写真番号 | | () | |
| その他(伸縮装置) | | 写真番号 | | 写真番号 | | () | |

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

※様式1の記載事項について

| 項目 | 記載事項 |
|------|--|
| 橋梁ID | 「定期点検対象施設のID付与に関する参考資料(案)」(令和元年10月)【国土交通省HP掲載資料】による。(例:「36.34139,140.44694」) |
| 橋梁形式 | 77条記入要領および「橋梁定期点検要領」(国土交通省道路局国道・技術課)の「付表-3. 1 構造形式一覧」を参考とすること。 |

状況写真(様式1)に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

| 構成要素 | | 施設ID | 定期点検実施年月日 | 定期点検者 |
|------------|---------|------|------------|---------|
| 想定する状況 | 構成要素の状態 | | 構成要素 | 構成要素の状態 |
| 写真番号 備考 | 径間 | 部材番号 | 写真番号 備考 | 径間 |
| 想定する状況 | 構成要素の状態 | | 想定する状況 | 構成要素の状態 |
| 写真番号 備考 | 径間 | 部材番号 | 写真番号 備考 | 径間 |
| 想定する状況 | 構成要素の状態 | | 想定する状況 | 構成要素の状態 |
| 写真番号 備考 | 径間 | 部材番号 | 写真番号 備考 | 径間 |

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

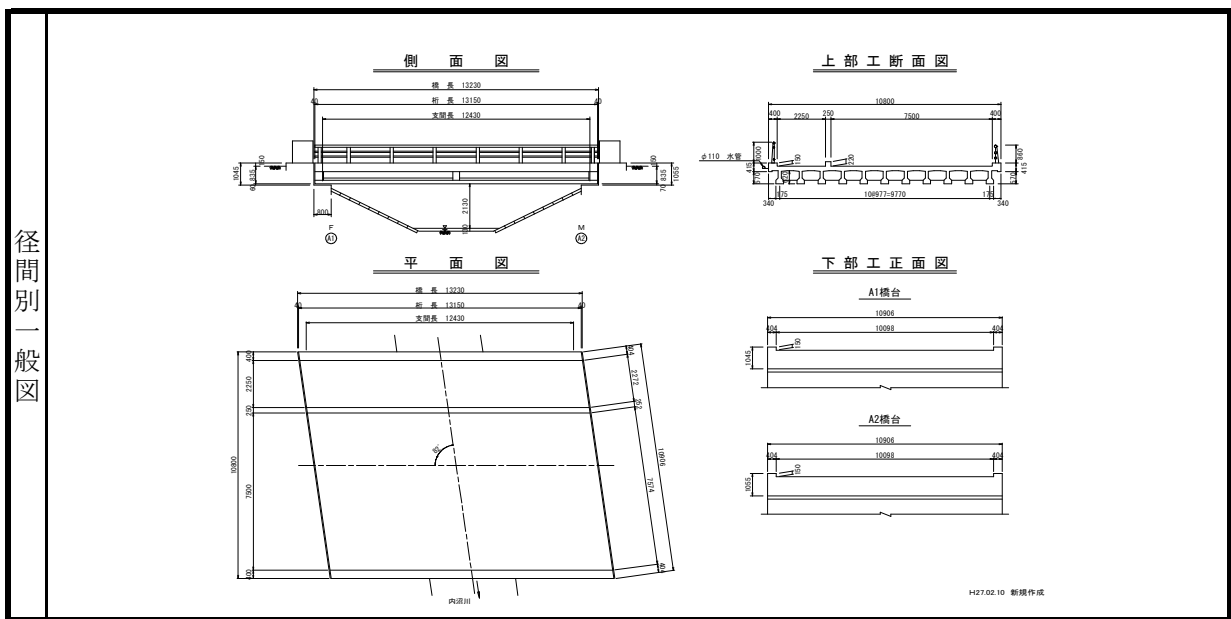
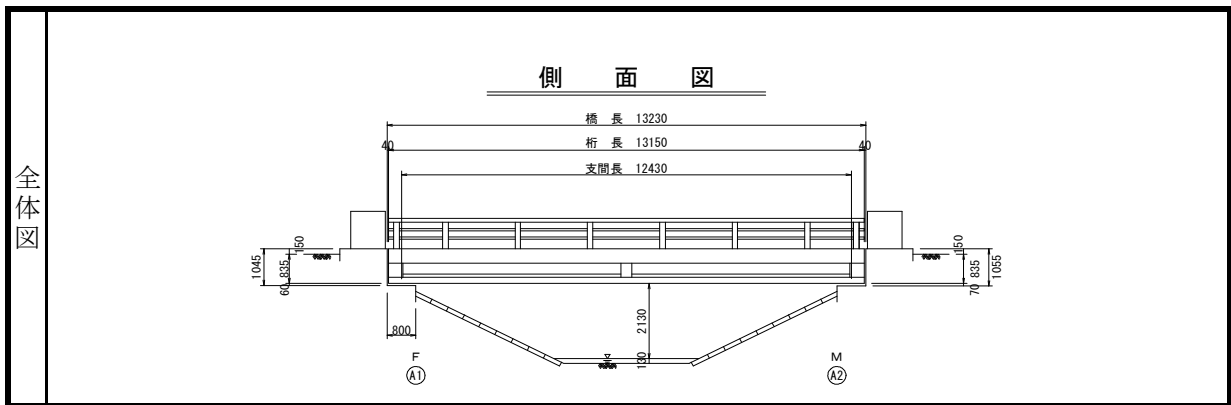
| 該当部位 | 施設ID | | | | 定期点検実施年月日 | | | 健全性の診断の区分の前提 | 定期点検者 | 特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等) |
|--------------|---------------------|----|----|--------------|-------------|----|-----|--------------|-------|--|
| | 特定事象の有無 (有もしくは無) | 疲労 | 塩害 | アルカリ骨 材反応 | 防食機能 の低下 | 洗掘 | その他 | | | |
| 上部構造 | | | | | | | | | | |
| 下部構造 | | | | | | | | | | |
| 上下部接続部 | | | | | | | | | | |
| その他(フェールセーフ) | | | | | | | | | | |
| その他(伸縮装置) | | | | | | | | | | |

(適宜、所見を記入)

所見

| 橋梁諸元と総合検査結果 | | | | | |
|-------------|-----|-------|-----|------|----|
| 橋梁名 | 〇〇橋 | | 路線名 | 〇〇号線 | |
| 所在地 | 自 | 〇〇市〇〇 | 距離標 | 自 | km |
| | 至 | 〇〇市〇〇 | | 至 | km |
| | | | 管轄 | 茨城県 | |
| | | | | 〇〇市 | |
| | | | | 〇〇市 | |

| | | | | | | | | | |
|---------|-------------|-------------|--------|-------|--------|---------|-----|-------|-----|
| 供用開始日 | 1989年 | | 活荷重・等級 | - | | 適用示方書 | - | | |
| 橋長 | 13.23 m | | 総径間数 | 1 径間 | | | | | |
| 上部構造形式 | 単純PCプレテンT桁橋 | | 下部構造形式 | 不明 | | 基礎形式 | 不明 | | |
| 交通条件 | 調査年 | 不明 | | | 大型車混入率 | 不明 | | | |
| | 交通量 | 不明 (昼間12時間) | | | 荷重制限 | 不明 | | | |
| 幅員 | 全幅員 | 10.8 m | 地覆幅 | 歩道幅 | 車道幅・車線 | 車道幅・車線 | 歩道幅 | 地覆幅 | 中央帯 |
| | 有効幅員 | 10 m | 0.4 m | 2.5 m | 3.75m | 3.75m | - | 0.4 m | - |
| 海岸からの距離 | 53km | 緊急輸送路の指定 | 指定なし | | | 優先確保ルート | の指定 | | 無 |
| 路下条件 | 河川:〇〇川 | | | | | | | | |



径間別一般図



径間別一般図



記載例1

様式2-1



| 橋梁管理番号 | | 橋梁名 | | | | 調査年 | | 上部工構造形式 | | | | | | | |
|-----------|------|--------|----|----|-----|-------------|------|----------|---------|-----|----------|------|--------|-----------|-----|
| 123456789 | | 〇〇〇橋 | | | | 2024年 | | 鋼桁橋(その他) | | | | | | | |
| 調査結果 | | 径間番号 | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 損傷の項目等 | | 鋼部材の損傷 | | | | コンクリート部材の損傷 | | | | その他 | | 写真番号 | その他損傷 | 備考 | |
| | | 腐食 | 亀裂 | 破断 | その他 | ひびわれ | パターン | 床版ひびわれ | 剥離・鉄筋露出 | その他 | 支承部の機能障害 | | | | その他 |
| 主桁 | 01 | a | c | a | - | / | / | / | / | / | / | 1, 2 | | | |
| | 02 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| | 03 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | 3 | | | |
| 縦桁 | 01 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| 横桁 | 01 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| | 02 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| | 03 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| | 04 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| 対傾構 | 01 | a | c | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| 横構 | 01 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| | 02 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| | 03 | a | a | a | - | / | / | / | / | / | / | | | | |
| 床版 | 01 | / | / | / | / | / | - | b | a | - | / | 4 | | | |
| | 02 | / | / | / | / | / | - | c | a | - | / | 5, 6 | | | |
| | 03 | / | / | / | / | / | - | c | a | - | / | 7 | | | |
| | 04 | / | / | / | / | / | - | b | a | - | / | 8 | | | |
| 下部工 | 01 | / | / | / | / | / | a | - | / | a | - | e | 9 | 洗掘 : e | |
| | 02 | / | / | / | / | / | a | - | / | a | - | e | 10, 11 | 洗掘 : e | |
| 支承 | 0101 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | |
| | 0102 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | |
| | 0103 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | |
| | 0201 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | |
| | 0202 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | |
| | 0203 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | |
| 高欄 | 01 | / | / | / | / | / | a | / | / | / | c | / | 12 | 欠損 : c | |
| | 02 | / | / | / | / | / | a | / | / | / | c | / | 13 | 欠損 : c | |
| 舗装 | 01 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | c | 14 | 舗装の異常 : c | |
| 伸縮装置 | 01 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | c | 15 | 路面の凹凸 : c | |
| | 02 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | c | 16 | 路面の凹凸 : c | |

記載例2

様式2-1

| 橋梁管理番号 | | 橋梁名 | | | | 調査年 | 上部工構造形式 | | | | | | | | |
|-----------|------|--------|----|----|-----|-------------|---------|--------|---------|-----|------|--------|-----------------|----------|-----|
| 123456789 | | 〇〇〇橋 | | | | 2024年 | R C T桁 | | | | | | | | |
| 調査結果 | | 径間番号 | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 損傷の項目等 | | 鋼部材の損傷 | | | | コンクリート部材の損傷 | | | | | 写真番号 | その他損傷 | 備考 | | |
| | | 腐食 | 亀裂 | 破断 | その他 | ひびわれ | パターン | 床版ひびわれ | 剥離・鉄筋露出 | その他 | | | | 支承部の機能障害 | その他 |
| 主桁 | 01 | / | / | / | / | a | - | / | c | c | / | 1, 2 | 漏水・遊離石灰:c, うき:c | | |
| | 02 | / | / | / | / | b | - | / | a | - | / | | | | |
| | 03 | / | / | / | / | a | - | / | c | - | / | 3 | | | |
| 横桁 | 01 | / | / | / | / | a | - | / | a | - | / | | | | |
| | 02 | / | / | / | / | a | - | / | a | - | / | | | | |
| | 03 | / | / | / | / | a | - | / | a | - | / | | | | |
| | 04 | / | / | / | / | a | - | / | a | - | / | | | | |
| 床版 | 01 | / | / | / | / | / | - | b | a | - | / | 4 | | | |
| | 02 | / | / | / | / | / | - | c | a | - | / | 5, 6 | | | |
| | 03 | / | / | / | / | / | - | c | a | - | / | 7 | | | |
| | 04 | / | / | / | / | / | - | b | a | - | / | 8 | | | |
| 下部工 | 01 | / | / | / | / | a | - | / | a | - | e | 9 | 洗掘:e | | |
| | 02 | / | / | / | / | a | - | / | a | - | e | 10, 11 | 洗掘:e | | |
| 支承 | 0101 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | | |
| | 0102 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | | |
| | 0103 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | | |
| | 0201 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | | |
| | 0202 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | | |
| | 0203 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | a | - | | | |
| 高欄 | 01 | / | / | / | / | a | / | / | / | / | c | / | 12 | 欠損:c | |
| | 02 | / | / | / | / | a | / | / | / | / | c | / | 13 | 欠損:c | |
| 舗装 | 01 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | c | / | 14 | 舗装の異常:c | |
| 伸縮装置 | 01 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | c | / | 15 | 路面の凹凸:c | |
| | 02 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | c | / | 16 | 路面の凹凸:c | |

| 損傷図 | | | | | |
|---|------|-----|-----|-------|--------|
| 橋梁管理番号 | 1111 | 橋梁名 | 〇〇橋 | 路線名 | 〇〇〇〇号線 |
| <p style="text-align: center;">主 桁 (第 1 径間)</p> <p style="text-align: center;">(A1) (A2)</p> | | | | 損傷図No | 1 |
| | | | | 径間番号 | 1 |
| <p style="text-align: center;">下部工 (第 1 径間)</p> <p style="text-align: center;">A1橋台</p> <p style="text-align: center;">A2橋台</p> | | | | 損傷図No | 4 |
| | | | | 径間番号 | 1 |
| <p style="text-align: center;">橋 面 (第 1 径間)</p> <p style="text-align: center;">(A1) (A2)</p> | | | | 損傷図No | 6 |
| | | | | 径間番号 | 1 |

| 損傷写真台帳 | | 橋梁管理番号 | 1111 | 橋梁名 | 〇〇橋 | 路線名 | 〇〇〇〇号線 | |
|--|--|--------|------|--------|-----|-----|--------|------|
|  | 写真番号 | 1 | | 径間番号 | 1 | | 部材名称 | 主桁 |
| | 部材番号 | 01~11 | | 損傷発生位置 | | | メ モ | |
| | 部材位置:主桁 01~11 損傷名称:ひびわれ・漏水・遊離石灰 判定区分:a 主桁は健全である | | | | | | | |
| | 写真番号 | 6 | | 径間番号 | 1 | | 部材名称 | 支承 |
| | 部材番号 | 101 | | 損傷発生位置 | | | メ モ | |
| | 部材位置:支承 101 損傷名称:支承の機能障害 判定区分:無 支承は健全である (支承102~111同様) | | | | | | | |
|  | 写真番号 | 13 | | 径間番号 | 1 | | 部材名称 | 伸縮装置 |
| | 部材番号 | 01 | | 損傷発生位置 | | | メ モ | |
| | 部材位置:伸縮装置 01 損傷名称:伸縮装置の状況 判定区分:a 伸縮装置は健全である | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--------|-----------|-------------|-------------|--------------|--------------------|
| 橋梁名・所在地・管理者名等 | | 路線名 | 所在地 | 起点側 | 緯度 経度 | 施設ID |
| 橋梁名 | | | | 36° 20' 29" | 140° 26' 49" | 36.34139,140.44694 |
| 〇〇橋 (フリガナ) | マルズルハン | 国道 × × 号 | 〇〇県△△市□□地区内 | | | |
| 管理者名 | | 路下条件 | 代替路の有無 | 自専道or一般道 | 緊急輸送道路 | 占用物件(名称) |
| 〇〇県△△土木事務所 | | 緊急輸送道〇〇市道 | 有 | 一般道 | 二次 | 水道管 |

| | | | | |
|--------------------------------|------|-------|------|-----------------|
| 道路橋毎の健全性の診断 告示に基づく健全性の診断の区分 | 橋梁諸元 | 橋長 | 幅員 | 橋梁形式 |
| II | 1984 | 107.0 | 11.8 | 77条記入要領を参照し記入する |

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

| | | | | |
|--------------|-----------|----------|-------|-------------|
| 技術的な評価結果 | 定期点検実施年月日 | 2024.4.1 | 定期点検者 | (株)〇〇 △△ □□ |
| | 想定する状況 | | | |
| | 活荷重 | 地震 | 豪雨・出水 | その他 |
| 橋(全体として) | B | B | - | () |
| 上部構造 | B | B | - | () |
| 下部構造 | A | B | - | () |
| 上下部接続部 | A | A | - | () |
| その他(フェールセーフ) | - | A | - | () |
| その他(伸縮装置) | B | - | - | () |

全景写真(起点側、終点側を記載すること)






状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

| 構成要素 | | 定期点検実施年月日 | | 定期点検者 | | (株)○○ △△ □□ | |
|--|-------------------------------------|--------------------|---|----------|---------|-------------|--|
| 想定する状況 | | 2024.4.1 | | 下部構造 | | 構成要素の状態 | |
| 1.活荷重 | | 36.34139.140.44694 | | 2024.4.1 | | 構成要素の状態 | |
| 上部構造 | | B | | 1.活荷重 | | B | |
| 写真番号 | 1 | 径間 | 1 | 部材番号 | 床版01 | 下部工01 | |
| 備考 | 床版に遊離石灰を伴うひび割れがみられるため、活荷重に対して…… | | | | | | |
| 想定する状況 | 1.活荷重 | | A | | 構成要素の状態 | | |
| 構成要素 | | 上下部接続部 | | 構成要素の状態 | | | |
| 1.活荷重 | | A | | B | | | |
|  | | | | | | | |
| 写真番号 | 2 | 径間 | 1 | 部材番号 | 下部工01 | 下部工01 | |
| 備考 | 胸壁部に鉄筋露出がみられるため、活荷重に対して…… | | | | | | |
| 想定する状況 | 1.活荷重 | | B | | 構成要素の状態 | | |
| 構成要素 | | その他(伸縮装置) | | 構成要素の状態 | | | |
| 1.活荷重 | | B | | B | | | |
|  | | | | | | | |
| 写真番号 | 3 | 径間 | 1 | 部材番号 | 支承01 | 伸縮装置02 | |
| 備考 | 支承は健全である | | | | | | |
| 想定する状況 | 1.活荷重 | | A | | 構成要素の状態 | | |
| 構成要素 | | 上下部接続部 | | 構成要素の状態 | | | |
| 1.活荷重 | | A | | B | | | |
|  | | | | | | | |
| 写真番号 | 4 | 径間 | 2 | 部材番号 | 伸縮装置02 | 伸縮装置02 | |
| 備考 | 背面舗装との段差がみられる(20mm)ため、走行性の確保の観点から…… | | | | | | |
| 想定する状況 | 1.活荷重 | | B | | 構成要素の状態 | | |
| 構成要素 | | その他(伸縮装置) | | 構成要素の状態 | | | |
| 1.活荷重 | | B | | B | | | |
|  | | | | | | | |

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

| 構成要素 | | 施設ID | 36.34139.140.44694 | 定期点検実施年月日 | 2024.4.1 | 定期点検者 | (株)〇〇 | △△ | □□ |
|--------|--------------------------------|--|--------------------|--------------|----------|---------|-------|----|----|
| 構成要素 | | 上部構造 | | 構成要素 | | 下部構造 | | | |
| 想定する状況 | 2.地震 | 構成要素の状態 | | 想定する状況 | 2.地震 | 構成要素の状態 | | | |
| 写真番号 | 5 | 径間 | 1 | 部材番号 | 床版01 | | | | |
| 備考 | 床版に遊離石灰を伴うひび割れがみられるため、地震に対して…… | | | | | | | | |
| 想定する状況 | 2.地震 | 構成要素 | | 上下部接続部 | | A | | | |
| | |  | | | | | | | |
| 写真番号 | 6 | 径間 | 1 | 部材番号 | 下部工01 | | | | |
| 備考 | 胸壁部に鉄筋露出がみられるため、地震に対して…… | | | | | | | | |
| 想定する状況 | 2.地震 | 構成要素 | | その他(フェールセーフ) | | A | | | |
| | |  | | | | | | | |
| 写真番号 | 7 | 径間 | 1 | 部材番号 | 支承01 | | | | |
| 備考 | 支承は健全である | | | | | | | | |
| | |  | | | | | | | |
| 写真番号 | 8 | 径間 | 2 | 部材番号 | 落橋防止01 | | | | |
| 備考 | 落橋防止構造は健全である | | | | | | | | |
| | |  | | | | | | | |

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

| 該当部位 | 施設ID | 36.34.139.140.44694 | | | | | 定期点検実施年月日 | 2024.4.1 | 定期点検者 | (株)○○ △△ □□ | 特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等) |
|-------------|------|---------------------|----|--------------|-------------|----|-----------|----------|-------|-------------|--|
| | | 特定事象の有無 (有もしくは無) | | | | | | | | | |
| | | 疲労 | 塩害 | アルカリ骨 材反応 | 防食機能 の低下 | 洗掘 | | | | | |
| 上部構造 | | 無 | 無 | 無 | - | - | | | | 応急措置実施項目を記載 | |
| 下部構造 | | 無 | 無 | 無 | - | - | | | | | |
| 上下部接続部 | | 無 | - | - | - | - | | | | | |
| その他(フェルセ-7) | | 無 | - | - | 無 | - | | | | | |
| その他(伸縮装置) | | 無 | - | - | - | - | | | | | |

| | |
|----|------------------------------|
| 所見 | (1)「構造安全性」や「供用安全性」からの特筆すべき事項 |
| | (2)特定事象との関連性からの特筆すべき事項 |
| | (3)損傷等の変状の状況 |
| | (4)妥当性があると考えられる措置 |

| | | | | | | | |
|---------------------------|--|-------|------------|--------|----------|-----------------------------|--------------------|
| 横断歩道橋名・所在地・管理者名等 | | 路線名 | 所在地 | 設置位置 | 緯度 経度 | 36° 20' 29" 140° 26' 49" | 施設ID |
| 横断歩道橋名 | | | | | | | 36.34139,140.44694 |
| 〇〇歩道橋 (フリガナ)マルマルホトウキョウ | | 国道××号 | 〇〇県△△市□□地内 | | | | |
| 管理者名 | | | 代替路の有無 | 緊急輸送道路 | 占用物件(名称) | | |
| 〇〇県△△土木事務所 | | | 有 | 一次 | - | | |

| | | | |
|----------------------------------|------|---------|------|
| 横断歩道橋毎の健全性の診断 告示に基づく健全性の診断の区分 | | 横断歩道橋諸元 | |
| Ⅲ | 架設年度 | 橋長 | 通路幅員 |
| | 1981 | 23.2 | 1.5 |
| 単純鋼板桁橋,柱橋脚,RC杭 | | | |

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

| | | | | | |
|------------------|---|--------------|----------|------------|-------------|
| 技術的な評価結果 | | 定期点検実施年月日 | 2024.4.1 | 定期点検者 | (株)〇〇 △△ □□ |
| 横断歩道橋 (全体として) | | 想定する状況 地震 | | その他 | |
| 上部構造 | C | 写真番号 1 | B | 写真番号 7 | () |
| 下部構造 | B | 写真番号 2 | B | 写真番号 8 | () |
| 上下部接続部 | B | 写真番号 3 | B | 写真番号 9 | () |
| 階段部 | B | 写真番号 4 | B | 写真番号 10 | () |
| その他の接続部 | B | 写真番号 5 | C | 写真番号 11 | () |
| その他(フェールセーフ) | A | 写真番号 6 | A | 写真番号 12 | () |

全景写真(起点側、終点側を記載すること)



状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

| | | | | | |
|---|---|---|--------------|--------------------------|--------------|
| 施設ID 36.34139.140.44694 | | 定期点検実施年月日 2024.4.1 | | 定期点検者 (株)〇〇 △△ □□ | |
| 構成要素 1.活荷重 | | 構成要素 1.活荷重 | | 構成要素 下部構造 | |
| 想定する状況 C | | 想定する状況 1.活荷重 | | 構成要素の状態 B | |
|  | |  | | | |
| 写真番号 | 1 | 径間 | 1 | 部材番号 | 横桁11 |
| 備考 | 横桁に腐食により顕著な板厚減少がみられるため、活荷重に対して…… | | | | |
| 構成要素 1.活荷重 | | 構成要素 1.活荷重 | | 構成要素 階段部 | |
| 想定する状況 | B | 想定する状況 | 1.活荷重 | 構成要素の状態 | B |
|  | |  | | | |
| 写真番号 | 3 | 径間 | 1 | 部材番号 | 支承102 |
| 備考 | 支承全体に防食機能の劣化がみられるが、活荷重に対して…… | | | | |
| 構成要素 1.活荷重 | | 構成要素 1.活荷重 | | 構成要素 階段部 | |
| 想定する状況 | B | 想定する状況 | 1.活荷重 | 構成要素の状態 | B |
| 写真番号 | 4 | 径間 | 5 | 部材番号 | 階段01 |
| 備考 | 蹴上全体に腐食がみられるため、活荷重に対して…… | | | | |

状況写真(様式11に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

| | | | |
|---|------------------------------------|---|--------------------------|
| 施設ID 36.34139.140.44694 | | 定期点検実施年月日 2024.4.1 | 定期点検者 (株)〇〇 △△ □□ |
| 構成要素 その他接続部 | | 構成要素 その他(フェールセーフ) | |
| 想定する状況 1.活荷重 | 構成要素の状態 B | 想定する状況 1.活荷重 | 構成要素の状態 A |
|  | |  | |
| 写真番号 5 | 径間 3 | 部材番号 接合部201 | 部材番号 落橋防止102 |
| 備考 階段接続部ボルトに腐食がみられるが、活荷重に対して…… | 落橋防止構造は健全である | | |
| 構成要素 上部構造 | | 構成要素 下部構造 | |
| 想定する状況 2.地震 | 構成要素の状態 B | 構成要素の状態 | 構成要素の状態 B |
|  | |  | |
| 写真番号 7 | 径間 1 | 部材番号 横桁11 | 部材番号 下部工01 |
| 備考 横桁に腐食により顕著な板厚減少がみられるため、地震に対して…… | 橋脚柱下部に局所的な腐食がみられるが、地震に対して…… | | |

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

| | | | |
|---|--------------------------------|---|--------------------------|
| 施設ID 36.34139.140.44694 | | 定期点検実施年月日 2024.4.1 | 定期点検者 (株)〇〇 △△ □□ |
| 構成要素 上下部接続部 | | 構成要素 階段部 | |
| 想定する状況 2.地震 | 構成要素の状態 B | 想定する状況 2.地震 | 構成要素の状態 B |
|  | |  | |
| 写真番号 9 | 径間 1 | 部材番号 支承102 | 部材番号 階段01 |
| 備考 支承全体に防食機能の劣化がみられるが、地震に対して…… | 蹴上全体に腐食がみられるため、地震に対して…… | | |
| 構成要素 その他接続部 | | 構成要素 その他(フェールセーフ) | |
| 想定する状況 2.地震 | 構成要素の状態 C | 構成要素の状態 A | 構成要素の状態 A |
|  | |  | |
| 写真番号 11 | 径間 3 | 部材番号 接合部201 | 部材番号 落橋防止102 |
| 備考 階段接続部ボルトに腐食がみられるため、地震に対して…… | 落橋防止構造は健全である | | |

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

| 該当部位 | 施設ID | 36.34139,140.44694 特定事象の有無 (有もしくは無) | 定期点検実施年月日 | | 2024.4.1 | 定期点検者 | (株)○○ △△ □□ |
|--------------|------|---|-----------|---------------------|----------|-------|--|
| | | | 塩害 | 防食機能の低下 (有もしくは無) | | | |
| 上部構造 | 無 | 有 | - | | | | 特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等) |
| 下部構造 | 無 | 有 | - | | | | 応急措置実施項目を記載 |
| 上下部接続部 | 無 | 有 | - | | | | 健全性の診断の区分の前提 |
| 階段部 | 無 | 有 | - | | | | 近接目視以外の点検方法を記載 |
| その他の接続部 | 無 | 有 | - | | | | |
| その他(フェールセーフ) | 無 | 有 | - | | | | |

| | |
|----|--|
| 所見 | <p>(1)「構造安全性」や「供用安全性」からの特筆すべき事項</p> <p>(2)特定事象との関連性からの特筆すべき事項</p> <p>(3)損傷等の変状の状態</p> <p>(4)妥当性があると考えられる措置</p> |
|----|--|

第3編 通常点検

1. 通常点検について

通常点検とは、安全性の確認及び損傷の早期発見を図るため、年に1回実施するものである。

2. 点検の流れ

通常点検は、下図のフローに従って実施するものとする。

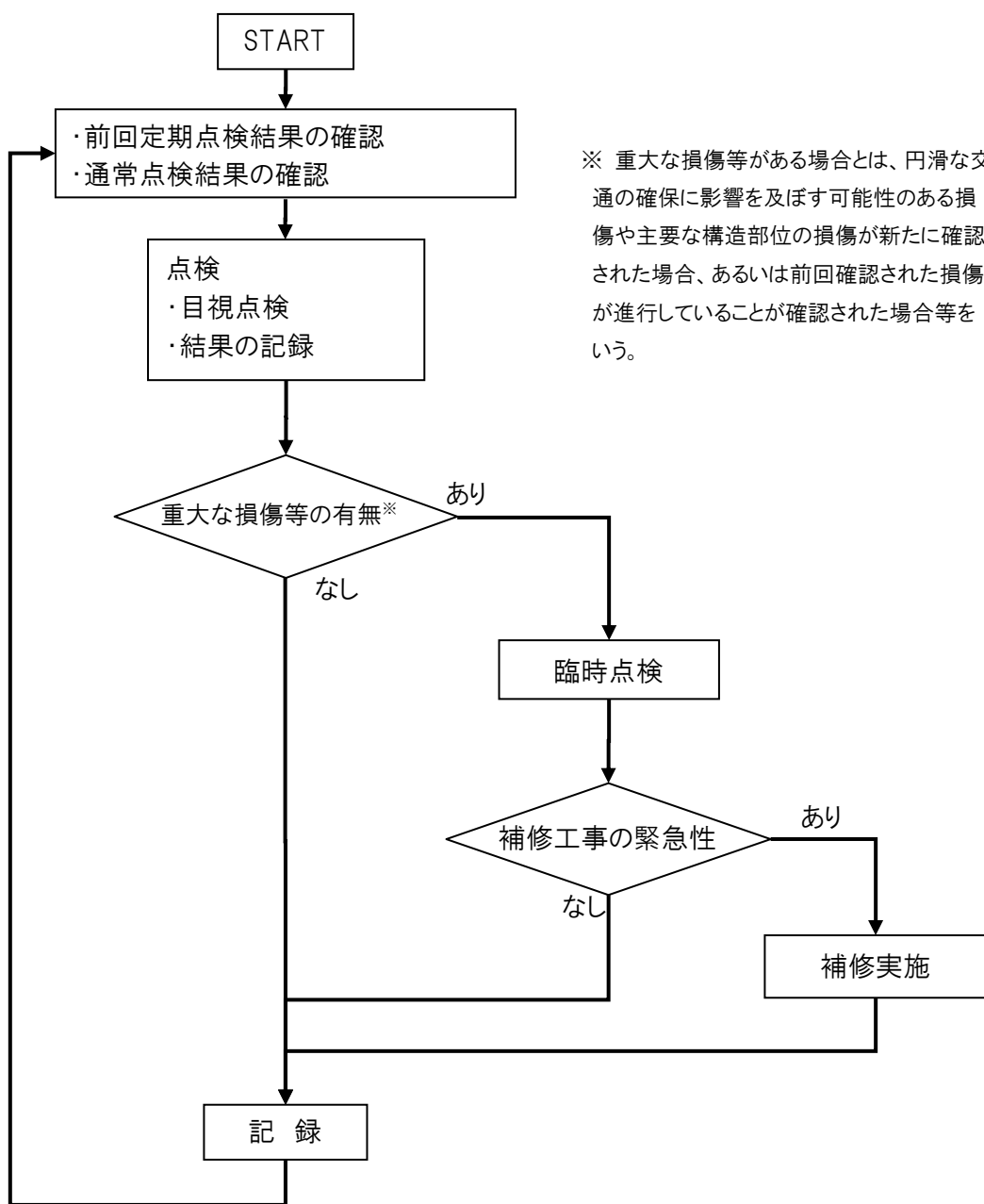


図-3.1 通常点検の流れ

3. 点検の内容

(1) 点検項目

点検は、下表の部材を対象として行う。

表-3.1 通常点検の対象部材

| 部材 | |
|-----|--------|
| 路 上 | 舗装 |
| | 高欄・防護柵 |
| | 地覆 |
| | 伸縮装置 |
| | 排水ます |
| 路 下 | 支承 |
| | 床版 |
| | 桁 |
| | 排水管 |
| | 橋台・橋脚 |
| 全 体 | |

(2) 点検方法

原則として、近接目視により行うが、近接目視が著しく困難な場合は、遠望目視とする。

(3) 点検体制

橋梁点検員、橋梁点検補助員、橋梁点検記録員とする。

【留意事項】

- (1) 点検では、重大な損傷の有無を把握し、次回の点検が実施されるまでの状況を確認するものである。
- (2) 損傷箇所を見つけた場合は、チョークによりマーキング(位置、クラック幅等)をしておく。(次回の点検において、損傷の進行状況等が確認できる。)
- (3) 全体については、管理上の面から、橋回りの状況(例:樹木の繁茂状況)や落書きの有無など橋梁本体に直接的に構造的な影響を与えることは少ないが、利用者等の安全面を考えた項目も点検しておくとい。

4. 結果の記録

(1)点検結果は、点検シート(橋種別に様式 1-2～様式 1-6(p.54～58))に記載するとともに、損傷位置図(様式 1-7(p.59))に損傷の概要を記入する。また、損傷位置等を撮影し、点検写真帳(様式 1-8(p.60))に整理する。

(2)点検シートは、橋梁諸元を記載した「様式 1-1」(p.52)とともに保管する。

【留意事項】

(1) 参考に付録として、通常点検における損傷写真例を示す。このような損傷が発見された場合は、点検シートのチェック欄にチェックを入れ必要措置事項欄に損傷の状況を記載する。(p.63 に記入例(鋼橋の場合)を示す。)

特に、構造的に安全性に影響を及ぼす恐れのある損傷(※印を付した項目で構造的に重要性の高い主桁・横桁・床版・支承及び下部工(橋台・橋脚))等が発見された場合には、臨時点検を行う。

(2) 損傷の発生箇所を点検者以外でも把握できるようにするため、損傷位置図(様式 1-7)を作成する。

損傷位置図は、損傷の発生箇所を丸囲みするとともに、「部材名」や「異常の種類」を近傍に併記することで分かりやすい損傷位置図の作成を心掛ける。

(3) 現地でデジタルカメラにより撮影した写真は点検写真帳(様式 1-8)を作成して整理する。なお、状況写真は、原則として「正面」・「側面」・「桁下」の全景写真も撮影し記録するものとする。(p.65 に作成例を示す。)

(4) 様式 1-1 については、点検に先立ち、各橋梁についての諸元を記載したものである。

(5) 点検の結果は、前回と次回の定期点検の間を補完することができる貴重な情報源となるため、大切に保管・蓄積しておく。

また、電子データとしては、バックアップをとっておく等して、データを消失することがないように注意する。

| 橋梁諸元と総合検査結果 | | | | | |
|-------------|---|--|-----|---|----|
| 橋梁名 | | | 路線名 | | |
| 所在地 | 自 | | 距離標 | 自 | km |
| | 至 | | | 至 | km |
| | | | 管轄 | | |

| | | | | | | | | | |
|---------|------|---|----------|-----|--------|---------|-----|-----|-----|
| 供用開始日 | | | 活荷重・等級 | | | 適用示方書 | | | |
| 橋長 | m | | 総径間数 | 径間 | | | | | |
| 上部構造形式 | | | 下部構造形式 | | | 基礎形式 | | | |
| 交通条件 | 調査年 | | | | 大型車混入率 | | | | |
| | 交通量 | | | | 荷重制限 | | | | |
| 幅員 | 全幅員 | m | 地覆幅 | 歩道幅 | 車道幅・車線 | 車道幅・車線 | 歩道幅 | 地覆幅 | 中央帯 |
| | 有効幅員 | m | | | | | | | |
| 海岸からの距離 | | | 緊急輸送路の指定 | | | 優先確保ルート | の指定 | | |
| 路下条件 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 全体図 | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 径間別一般図 | | | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

径間別一般図

径間別一般図

通常点検シート(鋼橋用)

| | |
|------------|-------|
| 橋梁名 | 橋 |
| 路線名 | |
| 点検年月日 | 年 月 日 |
| 天候 | |
| 点検者(所属/氏名) | / |

| 点検箇所 | | 点検内容 | | 点検結果 | 未確認 |
|------|--------------|-------------------------------------|-------|--------------------------|--------------------------|
| 路上 | 舗装 | 舗装や床版に穴が開いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | わだちぼれや亀甲状のひび割れがありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 高欄・防護柵 | 事故等により変形や破断している所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 地覆 | 高欄・防護柵の支柱の埋め込み部が壊れていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちて鉄筋が見えている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 伸縮装置 | 本体に壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 段差がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 隙間が完全に閉じている又は広がっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 排水ます | 排水ますに土砂やゴミが詰まっていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 上部工 | 支承 | 本体に壊れている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 車が通過したとき、叩くような音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | コンクリート床版 | 2方向(車の進行方向と直交方向)のひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 鋼床版・桁 | ボルトが無くなっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 排水管 | 壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| 下部工 | 橋台・橋脚 | 壁にひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所の鉄筋が錆びていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 桁と桁、桁と下部工の壁が接していますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 基礎が洗掘されている又は傾いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 全体 | | 車が通過したとき、きしみ音や異常な音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 車が通過したとき、振動が大きいと感じますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | その他(照明施設、標識、橋の回りの状況の異状や落書き等はありませんか) | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |

※が付く項目に1つでも『有』がある場合には、専門家による臨時点検を行う。

通常点検で未確認箇所は、チェックし、その理由も記入する。

| |
|--------|
| 必要措置事項 |
|--------|

| |
|-------|
| 未確認理由 |
|-------|

専門家による臨時点検が必要ですか はい ・ いいえ

通常点検シート(コンクリート・溝橋用)

| | |
|------------|-------|
| 橋梁名 | 橋 |
| 路線名 | |
| 点検年月日 | 年 月 日 |
| 天候 | |
| 点検者(所属/氏名) | / |

| 点検箇所 | 点検内容 | | 点検結果 | 未確認 | |
|------|------------------------------------|------------------------------|-------|--------------------------|--------------------------|
| 路上 | 舗装 | 舗装や床版に穴が開いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | わだちぼれや亀甲状のひび割れがありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 高欄・防護柵 | 事故等により変形や破断している所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 地覆 | 高欄・防護柵の支柱の埋め込み部が壊れていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちて鉄筋が見えている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 伸縮装置 | 本体に壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 段差がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 隙間が完全に閉じている又は広がっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 排水ます | 排水ますに土砂やゴミが詰まっていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 上部工 | 支承 | 本体に壊れている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 車が通過したとき、叩くような音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 床版 | 2方向(車の進行方向と直交方向)のひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 桁 | ひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所の鉄筋が錆びていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 排水管 | 壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| 下部工 | 橋台・橋脚 | 壁にひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所の鉄筋が錆びていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 桁と桁、桁と下部工の壁が接していますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 基礎が洗掘されている又は傾いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 全体 | 車が通過したとき、きしみ音や異常な音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| | 車が通過したとき、振動が大きいと感じますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| | その他(照明施設、標識、橋の回りの状況の異状や落書き等がありますか) | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |

※が付く項目に1つでも『有』がある場合には、専門家による臨時点検を行う。

通常点検で未確認箇所は、チェックし、その理由も記入する。

必要措置事項

未確認理由

専門家による臨時点検が必要ですか はい ・ いいえ

通常点検シート(トラス橋用)

| | |
|------------|-----------------|
| 橋梁名 | 橋 |
| 路線名 | |
| 点検年月日 | 年 月 日 |
| 天候 | |
| 点検者(所属/氏名) | / |

| 点検箇所 | | 点検内容 | 点検結果 | 未確認 | |
|-----------------------------|------------------------------------|------------------------------|--------------|--------------------------|--------------------------|
| 路上 | 舗装 | 舗装や床版に穴が開いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | わだちぼれや亀甲状のひび割れがありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 高欄・防護柵 | 事故等により変形や破断している所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 地覆 | 高欄・防護柵の支柱の埋め込み部が壊れていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちて鉄筋が見えている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 伸縮装置 | 本体に壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 段差がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 隙間が完全に閉じている又は広がっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 排水ます | 排水ますに土砂やゴミが詰まっていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 上部工 | 支承 | 本体に壊れている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 車が通過したとき、叩くような音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | コンクリート床版 | 2方向(車の進行方向と直交方向)のひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 上・下弦材 | ボルトが無くなっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 垂直・斜材 | ボルトが無くなっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 床版埋め込み部に錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 横桁・縦桁等 | ボルトが無くなっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 排水管 | 壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 下部工 | 橋台・橋脚 | 壁にひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 |
| ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | | | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | | | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| コンクリートが剥がれ落ちている所の鉄筋が錆びていますか | | | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 桁と桁、桁と下部工の壁が接していますか | | | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 基礎が洗掘されている又は傾いていますか | | | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 全体 | 車が通過したとき、きしみ音や異常な音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| | 車が通過したとき、振動が大きいと感じますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| | その他(照明施設、標識、橋の回りの状況の異状や落書き等がありますか) | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |

※が付く項目に1つでも『有』がある場合には、専門家による臨時点検を行う。

通常点検で未確認箇所は、チェックし、その理由も記入する。

必要措置事項

未確認理由

専門家による臨時点検が必要ですか はい ・ いいえ

通常点検シート(アーチ橋用)

| | |
|------------|-------|
| 橋梁名 | 橋 |
| 路線名 | |
| 点検年月日 | 年 月 日 |
| 天候 | |
| 点検者(所属/氏名) | / |

| 点検箇所 | | 点検内容 | 点検結果 | 未確認 | |
|------|------------------------------------|------------------------------|-------|--------------------------|--------------------------|
| 路上 | 舗装 | 舗装や床版に穴が開いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | わだちぼれや亀甲状のひび割れがありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 高欄・防護柵 | 事故等により変形や破断している所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 地覆 | 高欄・防護柵の支柱の埋め込み部が壊れていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちて鉄筋が見えている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 伸縮装置 | 本体に壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 段差がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 隙間が完全に閉じている又は広がっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 排水ます | 排水ますに土砂やゴミが詰まっていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 上部工 | 支承 | 本体に壊れている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 車が通過したとき、叩くような音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | コンクリート床版 | 2方向(車の進行方向と直交方向)のひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | アーチリブ | ボルトが無くなっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 吊り材又は支柱 | ボルトが無くなっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 吊り材の床版埋め込み部に錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 横桁・縦桁等 | ボルトが無くなっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 排水管 | 壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 下部工 | 橋台・橋脚 | 壁にひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所の鉄筋が錆びていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 桁と桁、桁と下部工の壁が接していますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 基礎が洗掘されている又は傾いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 全体 | 車が通過したとき、きしみ音や異常な音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| | 車が通過したとき、振動が大きいと感じますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| | その他(照明施設、標識、橋の回りの状況の異状や落書き等がありますか) | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |

※が付く項目に1つでも『有』がある場合には、専門家による臨時点検を行う。

通常点検で未確認箇所は、チェックし、その理由も記入する。

| |
|--------|
| 必要措置事項 |
|--------|

| |
|-------|
| 未確認理由 |
|-------|

専門家による臨時点検が必要ですか はい ・ いいえ

通常点検シート(吊り橋・斜張橋用)

| | |
|------------|-------|
| 橋梁名 | 橋 |
| 路線名 | |
| 点検年月日 | 年 月 日 |
| 天候 | |
| 点検者(所属/氏名) | / |

| 点検箇所 | | 点検内容 | 点検結果 | 未確認 | |
|------|------------------------------------|------------------------------|-------|--------------------------|--------------------------|
| 路上 | 舗装 | 舗装や床版に穴が開いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | わだちぼれや亀甲状のひび割れがありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 高欄・防護柵 | 事故等により変形や破断している所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 地覆 | 高欄・防護柵の支柱の埋め込み部が壊れていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちて鉄筋が見えている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 伸縮装置 | 本体に壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 段差がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 隙間が完全に閉じている又は広がっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 排水ます | 排水ますに土砂やゴミが詰まっていますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 上部工 | 支承 | 本体に壊れている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 車が通過したとき、叩くような音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | コンクリート床版 | 2方向(車の進行方向と直交方向)のひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | ケーブル斜材 | 定着部に異常又は破損している所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 被覆材が傷んでいる所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | 鋼床版・桁 | ボルトが無くなっていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 排水管 | 壊れている所がありますか | | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| 下部工 | 橋台・橋脚 | 壁にひび割れがありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所の鉄筋が錆びていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 桁と桁、桁と下部工の壁が接していますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| | | 基礎が洗掘されている又は傾いていますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> |
| 全体 | 車が通過したとき、きしみ音や異常な音がしますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| | 車が通過したとき、振動が大きいと感じますか | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |
| | その他(照明施設、標識、橋の回りの状況の異状や落書き等がありますか) | ※ | 有 ・ 無 | <input type="checkbox"/> | |

※が付く項目に1つでも『有』がある場合には、専門家による臨時点検を行う。

通常点検で未確認箇所は、チェックし、その理由も記入する。

必要措置事項

未確認理由

専門家による臨時点検が必要ですか はい ・ いいえ

| 振替位置図 |
|-------|
| 【路上】 |
| 【橋下】 |

※○番号は、点検写真帳の写真番号である。

0000橋(0000)点検写真帳

撮影年月日: 令和00年00月00日

写真番号 02

| | |
|------|----|
| 状況写真 | メモ |
|------|----|

写真番号 01

| | |
|------|----|
| 状況写真 | メモ |
|------|----|

写真番号 04

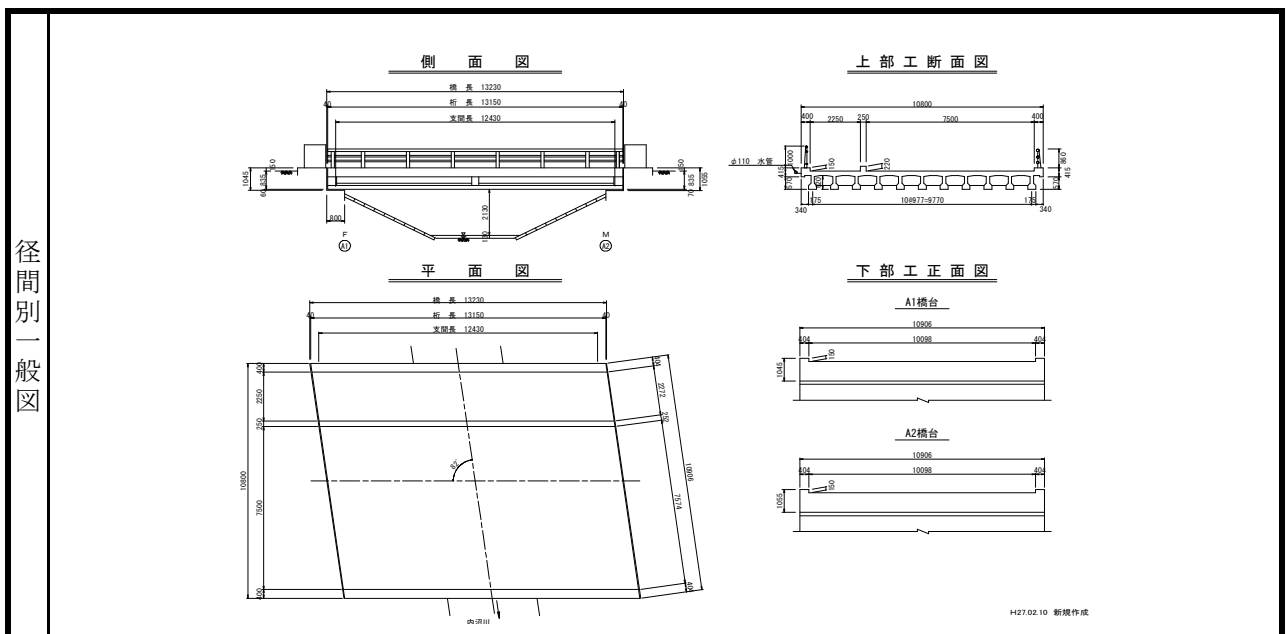
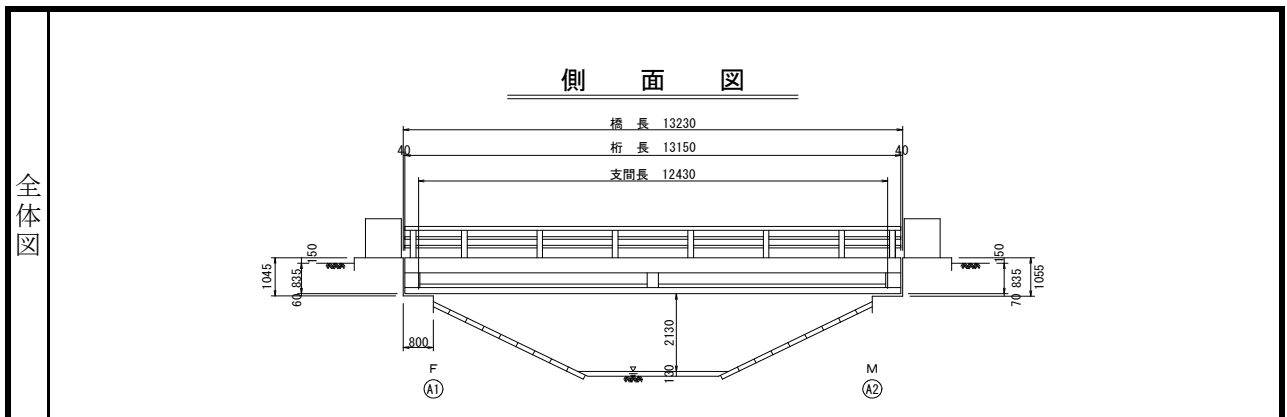
| | |
|------|----|
| 損傷写真 | メモ |
|------|----|

写真番号 03

| | |
|------|----|
| 損傷写真 | メモ |
|------|----|

※メモ欄には、損傷箇処や疑いのある損傷の状況をコメントする。

| 橋梁諸元と総合検査結果 | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------|--------|--------|--------|---------|-------|------|
| 橋梁名 | 〇〇橋 | | | 路線名 | 〇〇号線 | | | 茨城県 | |
| 所在地 | 自 | 〇〇市〇〇 | | 距離標 | 自 | | | 管轄 | 〇〇市 |
| | 至 | 〇〇市〇〇 | | | 至 | | | | 〇〇市 |
| 供用開始日 | 1989年 | | | 活荷重・等級 | - | | | 適用示方書 | - |
| 橋長 | 13.23 m | | | 総径間数 | 1 径間 | | | | |
| 上部構造形式 | 単純PCプレテンT桁橋 | | | 下部構造形式 | 不明 | | | 基礎形式 | 不明 |
| 交通条件 | 調査年 | 不明 | | | 大型車混入率 | 不明 | | | |
| | 交通量 | 不明 (昼間12時間) | | | 荷重制限 | 不明 | | | |
| 幅員 | 全幅員 | 10.8 m | 地覆幅 | 歩道幅 | 車道幅・車線 | 車道幅・車線 | 歩道幅 | 地覆幅 | 中央帯 |
| | 有効幅員 | 10 m | 0.4 m | 2.5 m | 3.75m | 3.75m | - | 0.4 m | - |
| 海岸からの距離 | 53km | 緊急輸送路の指定 | | | 指定なし | | 優先確保ルート | | 指定 無 |
| 路下条件 | 河川:〇〇川 | | | | | | | | |



径間別一般図



径間別一般図



記入例

通常点検シート(鋼橋用)

| | |
|------------|-----------|
| 橋梁名 | 〇〇〇〇橋 |
| 路線名 | 〇〇〇〇号線 |
| 点検年月日 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 天候 | 晴れ |
| 点検者(所属/氏名) | 長寿命課/橋太郎 |

| 点検箇所 | | 点検内容 | 点検結果 | 未確認 |
|----------------|--------------|--|--|--------------------------|
| 路上 | 舗装 | 舗装や床版に穴が開いていますか ※ | 有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | わだちぼれや亀甲状のひび割れがありますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 高欄・防護柵 | 事故等により変形や破断している所がありますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 地覆 | 高欄・防護柵の支柱の埋め込み部が壊れていますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちて鉄筋が見えている所がありますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 伸縮装置 | 本体に壊れている所がありますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | 段差がありますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | 隙間が完全に閉じている又は広がっていますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 排水ます | 排水ますに土砂やゴミが詰まっていますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| 上部工 | 支承 | 本体に壊れている所がありますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | 錆びている所がありますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | 車が通過したとき、叩くような音がしますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | コンクリート床版 | 2方向(車の進行方向と直交方向)のひび割れがありますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか ※ | 有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか ※ | 有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | 鋼床版・桁 | ボルトが無くなっていますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| 錆びている所がありますか ※ | | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> | |
| 排水管 | 壊れている所がありますか | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> | |
| 下部工 | 橋台・橋脚 | 壁にひび割れがありますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | ひび割れから錆汁や白い染み(遊離石灰)がありますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所がありますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | コンクリートが剥がれ落ちている所の鉄筋が錆びていますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | 桁と桁、桁と下部工の壁が接していますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | 基礎が洗掘されている又は傾いていますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| 全体 | | 車が通過したとき、きしみ音や異常な音がしますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | 車が通過したとき、振動が大きいと感じますか ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |
| | | その他(照明施設、標識、橋の回りの状況の異状や落書き等はありませんか) ※ | 有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |

※が付く項目に1つでも『有』がある場合には、専門家による臨時点検を行う。

通常点検で未確認箇所は、チェックし、その理由も記入する。

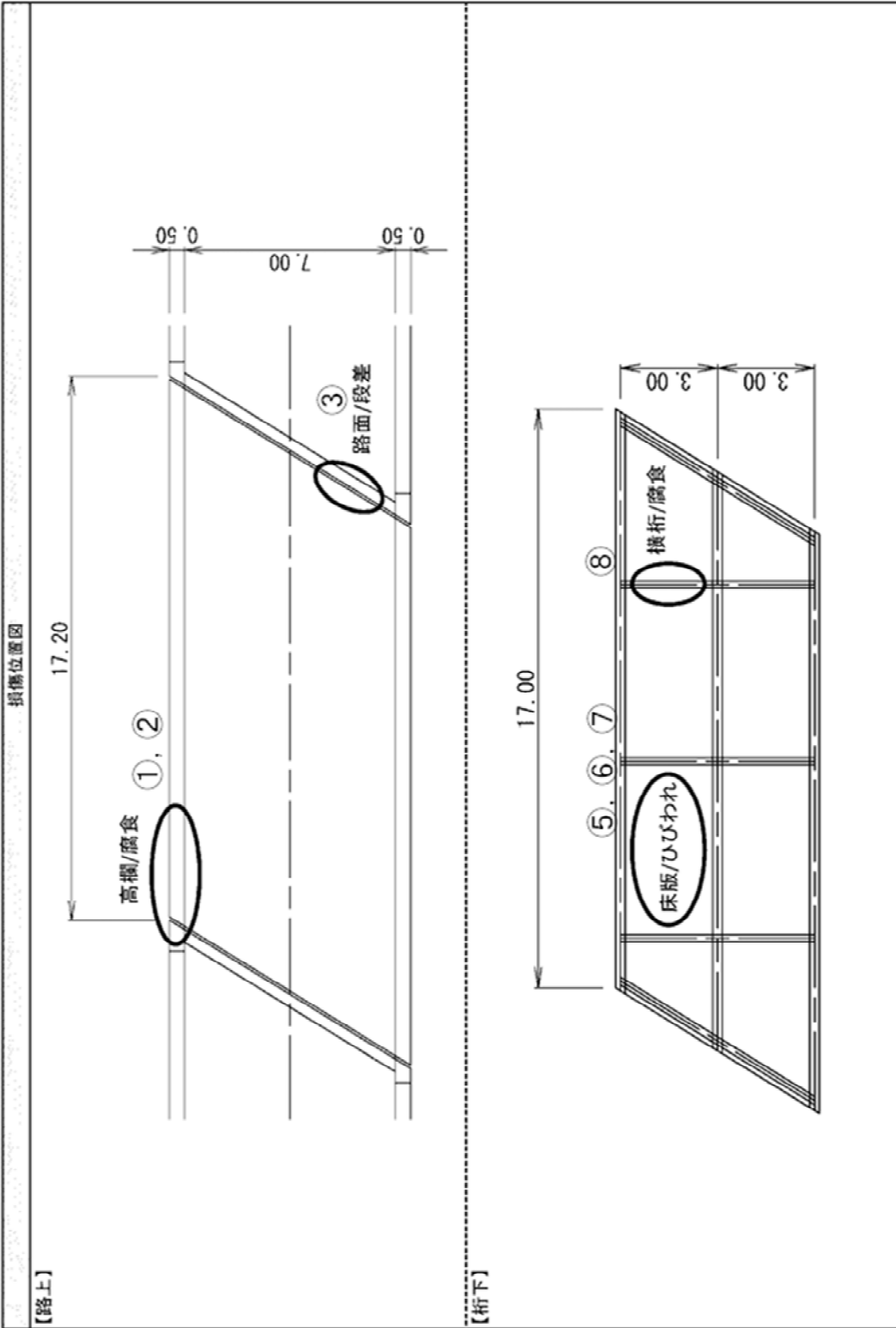
必要措置事項
 コンクリート床版において、2方向のひび割れが顕著になっていることから、詳細な調査が必要である。

未確認理由

専門家による臨時点検が必要ですか

はい ・ いいえ

損傷位置図の作成例



※○番号は、点検写真撮の写真番号である。


〇〇橋 点検写真帳(1/2)

撮影年月日:平成〇〇年〇〇月〇〇日

写真番号 01

| | | |
|---|------|---------------|
| 全景 | 状況写真 | メモ 起点側より望む |
|  | | |

写真番号 02

| | | |
|--|------|---------------|
| 全景 | 状況写真 | メモ 上流側より望む |
|  | | |

写真番号 03

| | | |
|--|------|------------|
| 全景 | 状況写真 | メモ 右側下流 |
|  | | |

写真番号 04


| | | |
|---|------|-----------------------------------|
| 高欄・防護柵 | 損傷写真 | メモ 端部に車両の激突が原因と思われる局所的な変形が見られる |
|  | | |

点検写真帳の作成例

様式 1-8


〇〇橋 点検写真帳 (2/2)

撮影年月日: 平成〇〇年〇〇月〇〇日

| | | | |
|---------|--|------|-----|
| 写真番号 06 | 鋼下部工 | 状況写真 | メモ |
| |  | | 橋歴板 |

| | | | |
|---------|---|------|------------------------------------|
| 写真番号 05 | 鋼下部工 | 損傷写真 | メモ |
| |  | | 橋桁下フランジ下面の全体的に塗装の劣化により下塗りの露出が見られる。 |

| | | | |
|---------|--|------|----|
| 写真番号 08 | | 状況写真 | メモ |
| | | | |

| | | | |
|---------|--|------|-------------------------|
| 写真番号 07 | 路面 | 損傷写真 | メモ |
| |  | | 歩道の伸縮装置部に40mm程度の段差が見られる |

付録ー1. 定期点検における損傷程度の評価

※本資料は、「橋梁定期点検要領(H31.3)」(国土交通省道路局国道・防災課)および「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」(国土技術政策総合研究所資料)を参考に作成した。

①腐食

(1)調査箇所

鋼部材の腐食状況を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | | 区分 |
|-------------------------------------|---|----|
| 損傷の深さ | 損傷の面積 | |
| 損傷なし | | a |
| 錆は表面的であり、著しい板厚減少等は視認できない。 | 損傷箇所の面積が小さく※局所的である。 | b |
| | 着目部分の全体に錆が生じている、又は着目部分に拡がりのある発錆箇所が複数ある。 | c |
| 鋼材表面に著しい膨張が生じている、又は明らかな板厚減少等が視認できる。 | 損傷箇所の面積が小さく※局所的である。 | d |
| | 着目部分の全体に錆が生じている、又は着目部分に拡がりのある発錆箇所が複数ある。 | e |

※ 面積の大小における閾値の目安は、50%である。

②亀裂

(1)調査箇所

鋼部材の亀裂を確認する。

支点部近傍の部材溶接部やゲルバー桁の掛け違い部などにおいては、亀裂の進展によっては橋が危険となるような場合もあるため、そのような状況に注意して調査する必要がある。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | | 区分 |
|--|--|----|
| 損傷なし | | a |
| 断面急変部、溶接接合部などに塗膜割れが確認できる。 亀裂が生じているが、線状でないか、線状であってもその長さがきわめて短く、さらに数が少ない場合。 | | c |
| 線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜割れを生じている。 | | e |

③ゆるみ・脱落

(1)調査箇所

橋梁の全ての主たる部材について、ボルトのゆるみや脱落を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|--|----|
| 損傷なし | a |
| ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。 (一群あたり本数の5%未満である) | c |
| ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。 (一群あたり本数の5%以上である) | e |

④破断

(1)調査箇所

橋梁の全ての主たる部材について、破断の有無を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|-------------------------|----|
| 損傷なし | a |
| 破断している(部材がつながっている場合は亀裂) | e |

⑤ひびわれ

(1)調査箇所

主桁、下部工等の主たる部材について、外観の状態を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | | 区分 |
|--|---------------------------------|----|
| 最大ひびわれ幅に着目した程度 | 最小ひびわれ間隔に着目した程度 | |
| 損傷なし | | a |
| ひびわれ幅が小さい (RC構造物 0.2mm 未満, PC構造物 0.1mm 未満) | ひびわれ間隔が大きい(最小ひびわれ間隔が概ね 0.5m 以上) | b |
| | ひびわれ間隔が小さい(最小ひびわれ間隔が概ね 0.5m 未満) | c |
| ひびわれ幅が中位 (RC構造物 0.2mm 以上 0.3mm 未満, PC構造物 0.1mm 以上 0.2mm 未満) | ひびわれ間隔が大きい(最小ひびわれ間隔が概ね 0.5m 以上) | c |
| | ひびわれ間隔が小さい(最小ひびわれ間隔が概ね 0.5m 未満) | d |
| ひびわれ幅が大きい (RC構造物 0.3mm 以上, PC構造物 0.2mm 以上) | ひびわれ間隔が大きい(最小ひびわれ間隔が概ね 0.5m 以上) | d |
| | ひびわれ間隔が小さい(最小ひびわれ間隔が概ね 0.5m 未満) | e |

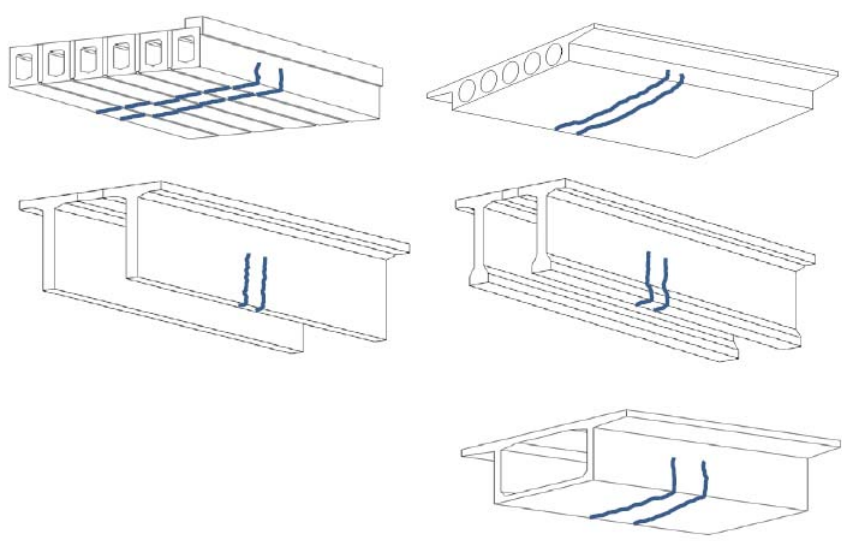
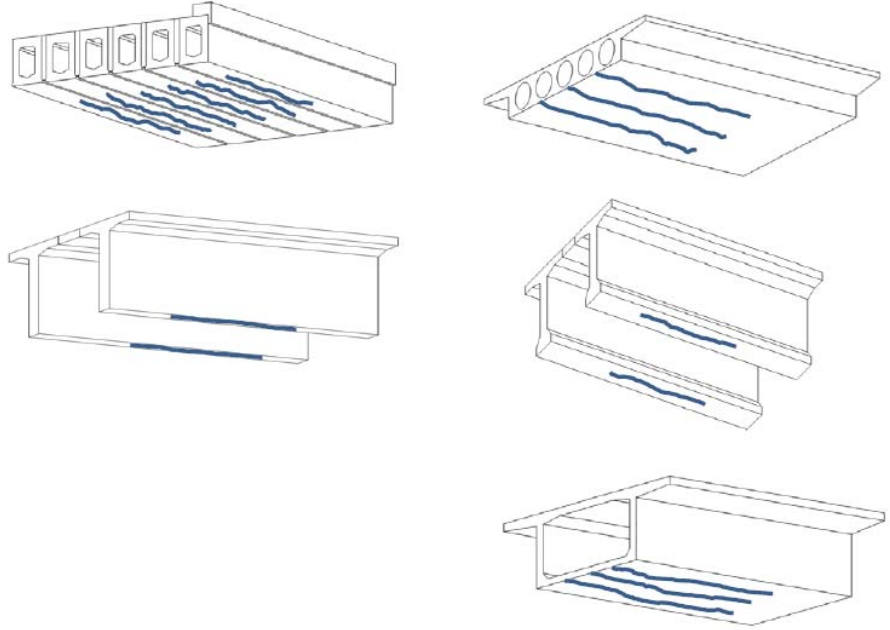
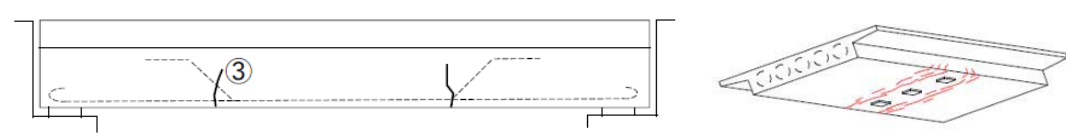
※ PC 橋の横締め部後打ちコンクリート等、当該構造自体は RC 構造であっても、部材全体としては PC 構造である部材は、PC 構造物として扱う。

(3)損傷パターン

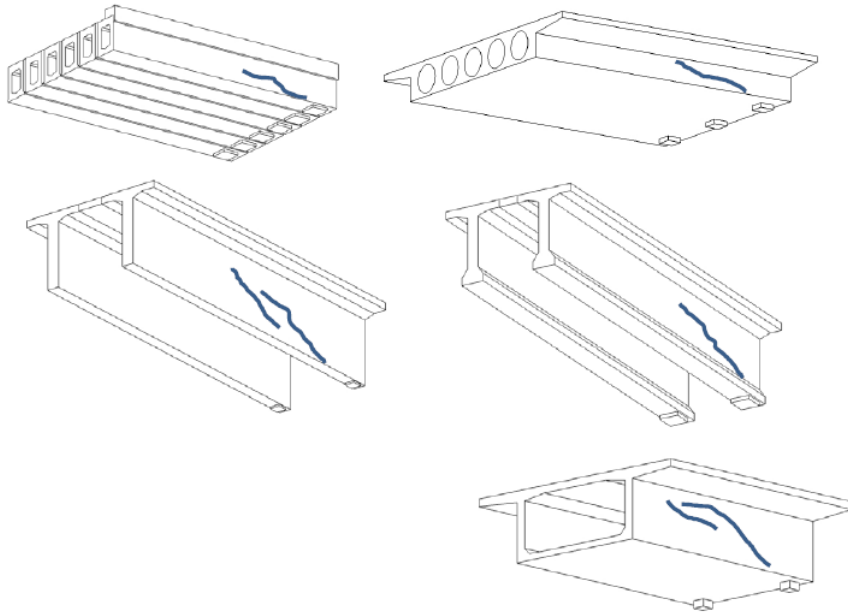
損傷パターンを下表によって区分し、対応するパターンの番号を記録する。同一要素に複数の損傷パターンがある場合は、全てのひびわれパターン番号を記録する。

a) 上部構造(RC, PC共通)

| 位置 | ひびわれパターン |
|-------------|---------------------------------|
| 支間中央部 | ①主桁直角方向の桁下面又は側面の鉛直ひびわれ |
| | ②主桁下面縦方向ひびわれ |
| 支間 1/4 部 | ③主桁直角方向の桁下面又は側面の鉛直又は斜めひびわれ |
| 支点部 | ④支点付近の腹部に斜めに発生しているひびわれ |
| | ⑤支承上の桁下面又は側面に鉛直に発生しているひびわれ |
| | ⑥支承上の桁側面に斜めに発生しているひびわれ |
| | ⑦ゲルバー部のひびわれ |
| その他 | ⑧連続桁中間支点部の上側の鉛直ひびわれ |
| | ⑨亀甲状、くもの巣状のひびわれ |
| | ⑩桁の腹部に規則的な間隔で鉛直方向に発生しているひびわれ |
| | ⑪ウェブと上フランジの接合点付近の水平方向のひびわれ |
| 支間1/4部又は支点部 | ⑫桁全体に発生している斜め 45° 方向のひびわれ |
| | ⑬桁下面又は側面の橋軸方向ひびわれ(⑩に該当するものは除く。) |
| | ⑭上フランジのひびわれ |

| | |
|--|--------------------------|
| 支間全体 | ③支間全体で桁腹部に発生している水平方向ひびわれ |
| 横桁 | ④横桁部のひびわれ |
| ①支間中央部、主桁直角方向の桁下面又は側面の鉛直ひびわれ | |
|  | |
| ②支間中央部、主桁下面縦方向ひびわれ | |
|  | |
| ③支間 1/4 部、主桁直角方向の桁下面又は側面の鉛直又は斜めひびわれ | |
|  | |

④ 支点部、支点付近の腹部に斜めに発生しているひびわれ

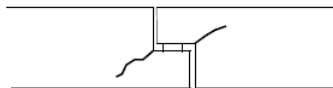


⑤ 支点部、支承上の桁下面又は側面に鉛直に発生しているひびわれ

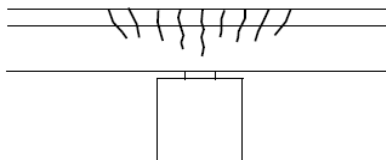
⑥ 支点部、支承上の桁側面に斜めに発生しているひびわれ



⑦ ゲルバー部のひびわれ



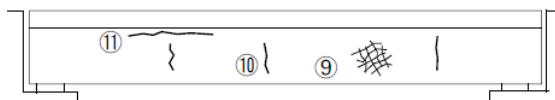
⑧ 支点部、連続桁中間支点部の上側の鉛直ひびわれ



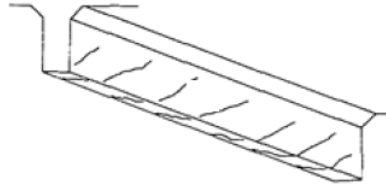
⑨ 亀甲状, くもの巣状のひびわれ

⑩ 桁の腹部に規則的な間隔で鉛直方向に発生しているひびわれ

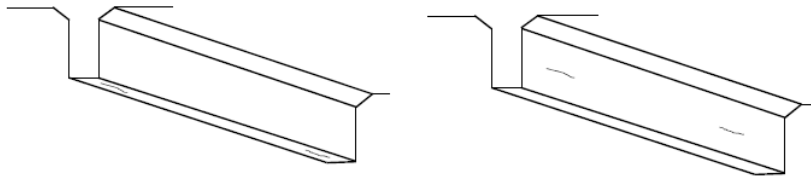
⑪ ウェブと上フランジの接合点付近の水平方向のひびわれ



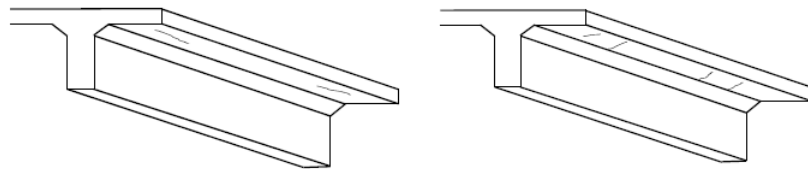
⑫桁全体に発生している斜め 45° 方向のひびわれ



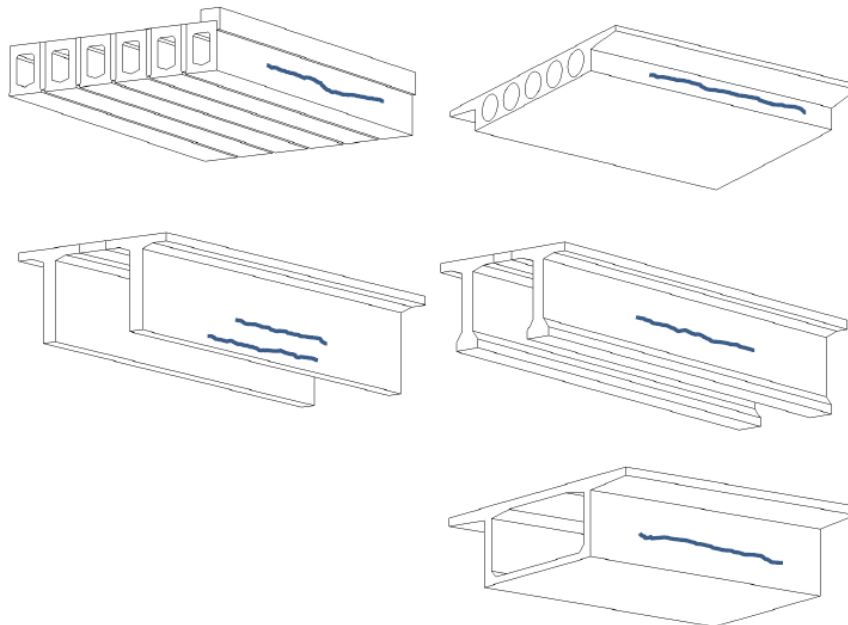
⑬支間1/4部又は支点部、桁下面又は側面の橋軸方向ひびわれ(⑭に該当するものは除く。)

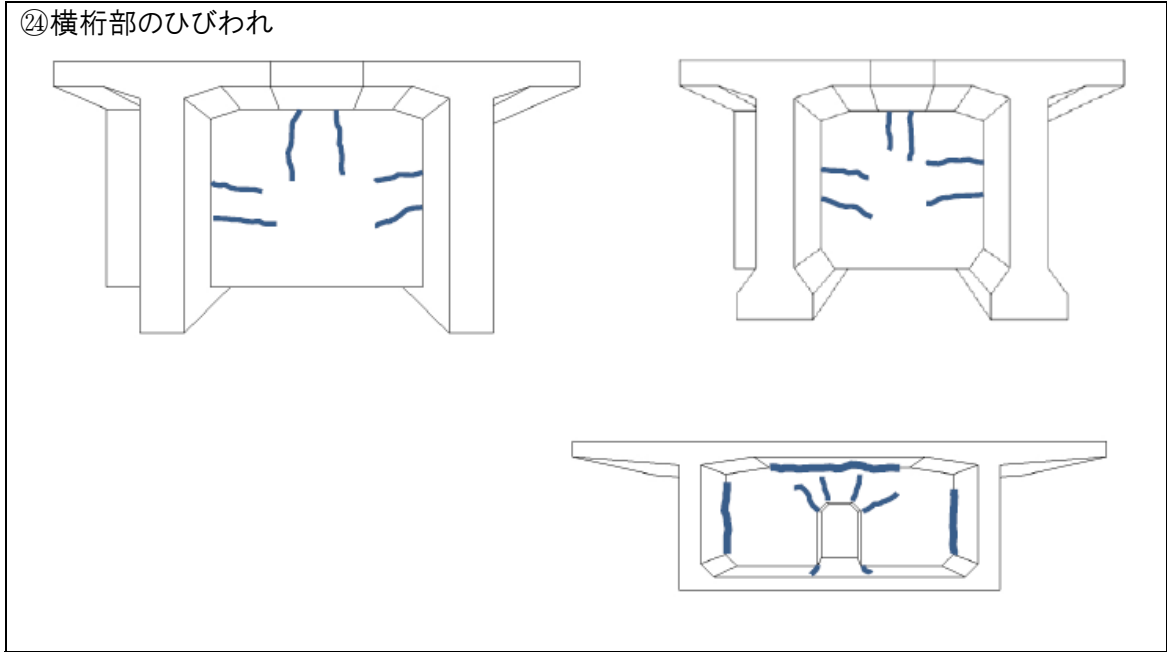


⑭支間1/4部又は支点部、上フランジのひびわれ



⑮支間全体：支間全体で桁腹部に発生している水平方向ひびわれ

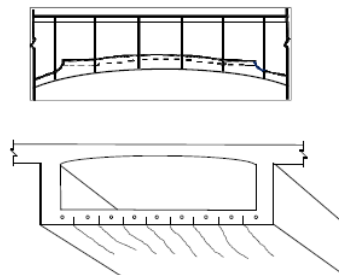




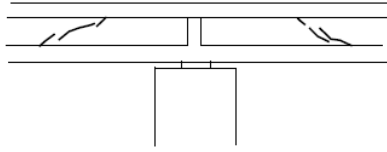
b) 上部構造(PCのみ)

| 位置 | ひびわれパターン |
|----------|-------------------------------|
| 支間中央部 | ⑬変断面桁の下フランジのPC鋼材に沿ったひびわれ |
| | ⑱主桁上フランジ付近のひびわれ |
| 支間 1/4 部 | ⑭PC連続中間支点の変局点付近のPC鋼材に沿ったひびわれ |
| | ⑮PC連続中間支点の変曲点付近のPC鋼材に直交したひびわれ |
| 支点部 | ⑲主桁の腹部に水平なひびわれ |
| | ⑳連結横桁部(RC 構造部)のひびわれ |
| その他 | ⑰PC鋼材定着部又は偏向部付近のひびわれ |
| | ⑱PC鋼材が集中している付近のひびわれ |
| | ㉑シースに沿って生じるひびわれ |
| | ㉒セグメント接合部のすき・離れ |
| | ㉓断面急変部のひびわれ |

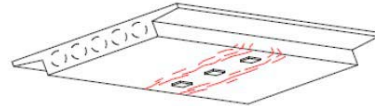
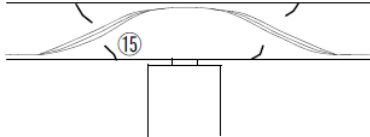
⑬支間中央部、変断面桁の下フランジのPC鋼材に沿ったひびわれ



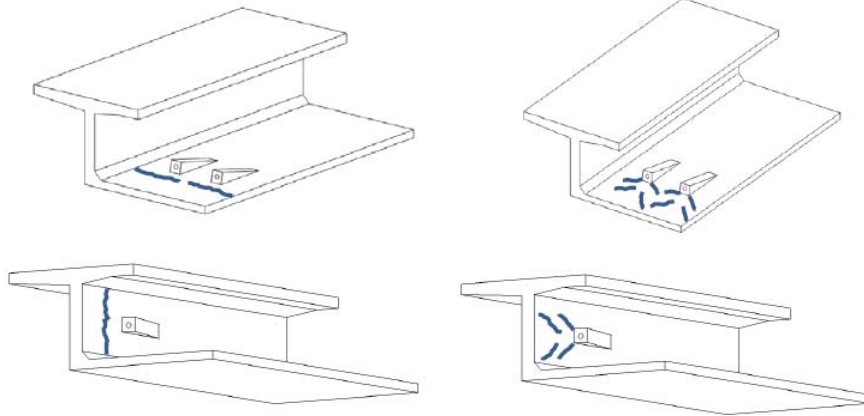
⑭支間 1/4 部、PC連続中間支点の変局点付近のPC鋼材に沿ったひびわれ



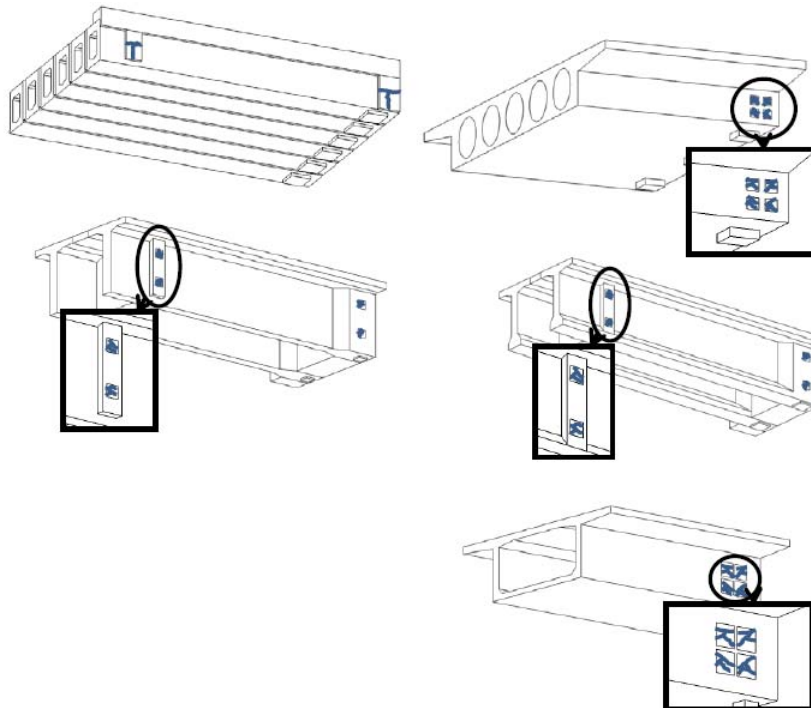
⑮支間 1/4 部、PC連続中間支点の変局点付近のPC鋼材に直交したひびわれ



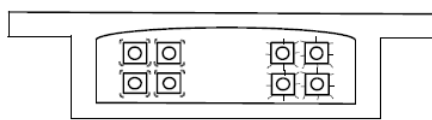
⑯PC鋼材定着部又は偏向部付近のひびわれ



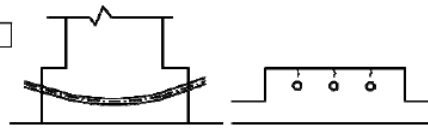
(ア) 定着突起周辺



(イ) 後埋めコンクリート部

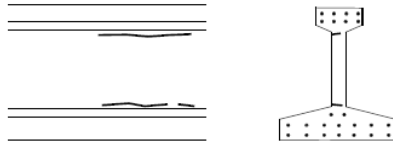


(ウ) 外ケーブル定着部

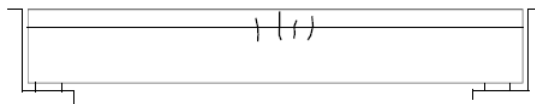


(エ) 偏向部

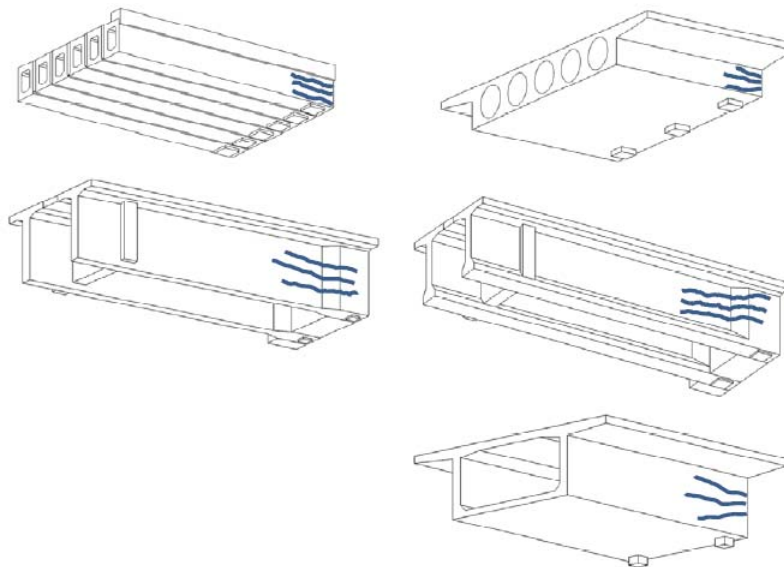
⑰PC鋼材が集中している付近のひびわれ



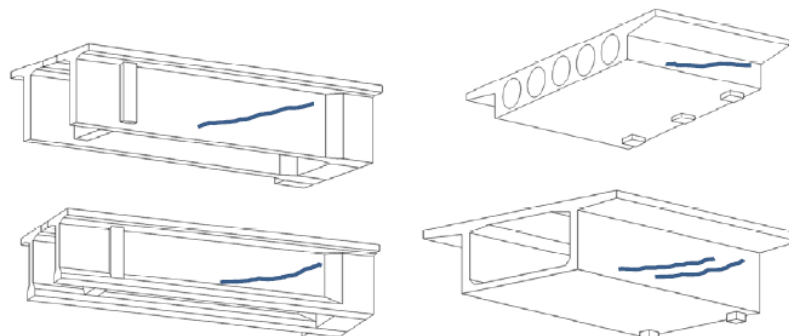
⑱支間中央部、主桁上フランジ付近のひびわれ



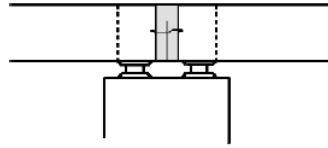
⑲支点部、主桁の腹部に水平なひびわれ



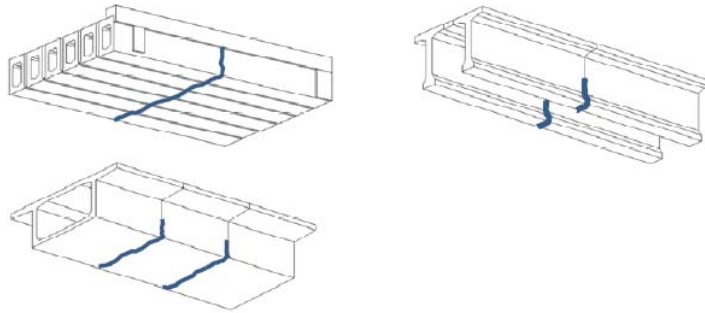
⑳シースに沿って生じるひびわれ



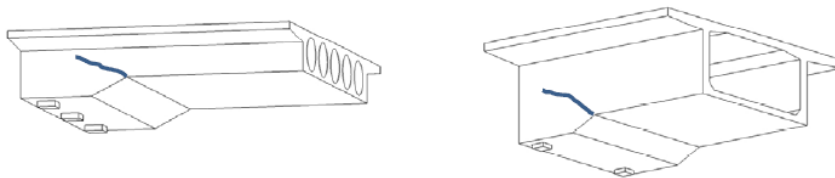
②⑤ 連結横桁部(RC 構造部)のひびわれ



②⑥ セグメント接合部のすき・離れ



②⑦ 断面急変部のひびわれ



c) 下部構造

| 位置 | ひびわれパターン |
|---------------|---------------------|
| 橋台全面 | ①規則性のある鉛直又は斜めひびわれ |
| | ②打ち継ぎ目に鉛直な又は斜めのひびわれ |
| | ③鉄筋段落とし付近のひびわれ |
| | ④亀甲状, くもの巣状のひびわれ |
| 支承下部 | ⑤支承下面付近のひびわれ |
| T型橋脚 | ②打ち継ぎ目に鉛直な又は斜めのひびわれ |
| | ③鉄筋段落とし付近のひびわれ |
| | ④亀甲状, くもの巣状のひびわれ |
| | ⑥張り出し部の付け根上側のひびわれ |
| | ⑦橋脚中心上部の鉛直ひびわれ |
| | ⑧張り出し部の付け根下側のひびわれ |
| | ⑬側面の鉛直方向ひびわれ |
| ラーメン橋脚 | ④亀甲状, くもの巣状のひびわれ |
| | ⑨柱上下端・ハンチ全周にわたるひびわれ |
| | ⑩柱全周にわたるひびわれ |
| | ⑪柱上部・ハンチ全周にわたるひびわれ |
| ⑫はり中央部下側のひびわれ | |

The diagrams illustrate various crack patterns in bridge structures. The top row shows a cross-section of a pier with cracks labeled 1 through 8, and a T-shaped pier with cracks labeled 2 through 8. The bottom row shows a cross-section of a column with a crack labeled 5, and a T-shaped pier with cracks labeled 9 through 13.

⑥剥離・鉄筋露出

(1)調査箇所

橋梁の全ての主たる部材について、剥離・鉄筋露出を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|-----------------------------|----|
| 損傷なし | a |
| 剥離のみが生じている。 | c |
| 鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。 | d |
| 鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食又は破断している。 | e |

⑦漏水・遊離石灰

(1)調査箇所

主桁、下部工等の主たる部材について、漏水・遊離石灰を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|---|----|
| 損傷なし | a |
| ひびわれから漏水が生じている。 錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。 | c |
| ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。 | d |
| ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つらら状)が生じている、 又は漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。 | e |

⑧抜け落ち

(1)調査箇所

橋梁の全ての床版について、抜け落ちの有無を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|-----------------|----|
| 損傷なし | a |
| コンクリート塊の抜け落ちがある | e |

⑨床版ひびわれ

(1)調査箇所

橋梁全ての床版について、近接目視にて確認する。

(2)損傷程度の評価区分

損傷程度の評価は、次の区分によるものとする。

| 一方向ひびわれ | | 二方向ひびわれ | | 漏水・遊離石灰 | 区分 |
|---|---|---|---|---------|----|
| 性状 | ひびわれ | 性状 | ひびわれ | | |
|  | 損傷なし | — | | なし | a |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは主として1方向のみ 最小ひびわれ間隔は概ね1m以上 最大ひびわれ幅は 0.05mm 以下 (ヘアークラック程度) | — | | なし | b |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは主として1方向のみ ひびわれ間隔は問わない ひびわれ幅は 0.1mm 以下が主 (一部には 0.1mm 以上も存在) |  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは格子状 格子の大きさは 0.5m程度以上 ひびわれ幅は 0.1mm 以下が主 (一部には 0.1mm 以上も存在) | なし | c |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは主として1方向のみ ひびわれ間隔は問わない 最大ひびわれ幅は 0.2mm 以下が主 (一部には 0.2mm 以上も存在) |  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは格子状 格子の大きさは 0.5m~0.2m ひびわれ幅は 0.2mm 以下が主 (一部には 0.2mm 以上も存在) | なし | d |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは主として1方向のみ ひびわれ間隔は問わない 最大ひびわれ幅は 0.2mm 以下が主 (一部には 0.2mm 以上も存在) |  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは格子状 格子の大きさは問わない ひびわれ幅は 0.2mm 以下が主 (一部には 0.2mm 以上も存在) | あり | d |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは主として1方向のみ ひびわれ間隔は問わない ひびわれ幅は 0.2mm 以上が目立ち、部分的な角落ちも見られる |  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは格子状 格子の大きさは 0.2m以下 ひびわれ幅は 0.2mm 以上が目立ち、部分的な角落ちも見られる | なし | e |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは主として1方向のみ ひびわれ間隔は問わない ひびわれ幅は 0.2mm 以上が目立ち、部分的な角落ちも見られる |  | <ul style="list-style-type: none"> ひびわれは格子状 格子の大きさは問わない ひびわれ幅は 0.2mm 以上が目立ち、部分的な角落ちも見られる | あり | e |

⑩路面の凹凸

(1)調査箇所

衝撃力を増加させる要因となる路面に生じる橋軸方向の凹凸や段差の有無を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|---------------------------------|----|
| 損傷なし | a |
| 橋軸方向の凹凸が生じており、段差量は小さい(20mm 未満)。 | c |
| 橋軸方向の凹凸が生じており、段差量が大きい(20mm 以上)。 | e |

⑪支承部の機能障害

(1)調査箇所

橋梁の全ての支承部(支承本体、アンカーボルト及び落橋防止システム)について、機能障害の有無を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|---|----|
| 損傷なし | a |
| 支承部の機能が損なわれているか、著しく阻害されている可能性のある損傷が生じている。 | e |

⑫補修・補強材の損傷

(1)調査箇所

橋梁の全ての補修・補強対策箇所について、補修・補強材の損傷状況を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

【コンクリート部材への補修・補強材】

a) 鋼板

| 評価の目安 | 区分 |
|---|----|
| 損傷なし | a |
| 補修部の鋼板のうきは発生していないものの、シール部の一部剥離又は錆又は漏水のいずれかの損傷が見られる | c |
| 次のいずれかの損傷が見られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・補修部の鋼板のうきが発生している。 ・シール部分がほとんど剥離し、一部にコンクリートアンカーのうきが見られ、錆及び漏水が著しい。 ・コンクリートアンカーに腐食が見られる。 ・一部のコンクリートアンカーに、うきが見られる。 | e |

b) 繊維

| 評価の目安 | 区分 |
|---|----|
| 損傷なし | a |
| 補強材に、一部のふくれ等の軽微な損傷がある。 又は、補強されたコンクリート部材から漏水や遊離石灰が生じている。 | c |
| 補強材に著しい損傷がある、又は断裂している。 又は、補強されたコンクリート部材から漏水や遊離石灰が大量に生じている。 | e |

c) コンクリート系

| 評価の目安 | 区分 |
|--|----|
| 損傷なし | a |
| 補強されたコンクリート部材から漏水や遊離石灰が生じている。 又は、補強材に軽微な損傷がある。 | c |
| 補強されたコンクリート部材から漏水や遊離石灰が大量に生じている。 又は、補強材に著しい損傷がある。 | e |

d) 塗装

| 評価の目安 | 区分 |
|--|----|
| 損傷なし | a |
| 塗装の剥離が見られる。 | c |
| 塗装がはがれ、補強されたコンクリート部材に錆汁が認められる又は漏水や遊離石灰が大量に生じている。 | e |

【鋼部材への補修・補強材】

e) 鋼板(あて板等)

| 評価の目安 | 区分 |
|--|----|
| 損傷なし | a |
| 鋼板(あて板等)に軽微な損傷(防食機能の劣化, 一部の腐食, 一部ボルトのゆるみ等)が見られる。 | c |
| 鋼板(あて板等)に著しい損傷(全体の腐食, 多くのボルトのゆるみ, き裂等)が見られる。 | e |

⑬定着部の異常

(1)調査箇所

橋梁の全ての鋼材定着部について、状態を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|--|----|
| 損傷なし | a |
| PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる。 又は、ケーブルの定着部に損傷が認められる。 | c |
| PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある。 又は、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。 | e |

⑭沈下・移動・傾斜

(1)調査箇所

橋梁の全ての下部工について、沈下・移動・傾斜の有無を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|----------------------------|----|
| 損傷なし | a |
| 支点(支承)又は下部工が、沈下・移動・傾斜している。 | e |

⑮洗掘

(1)調査箇所

橋梁の全ての下部工について、洗掘の状況を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

| 評価の目安 | 区分 |
|---------------------|----|
| 損傷なし | a |
| 基礎が流水のため洗掘されている。 | c |
| 基礎が流水のため著しく洗掘されている。 | e |

参考資料

「道路橋定期点検要領(技術的助言)」
(令和6年3月 国土交通省 道路局)

「道路橋定期点検要領」
(平成31年2月 国土交通省 道路局)

「橋梁定期点検要領」
(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)

「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」
(平成19年5月 国土交通省 国土技術政策総合研究所)

「横断歩道橋定期点検要領(技術的助言)」
(令和6年3月 国土交通省 道路局)

「横断歩道橋定期点検要領」
(平成31年2月 国土交通省 道路局)

「特定の条件を満足する溝橋の定期点検に関する参考資料」
(平成31年2月 国土交通省 道路局 国道・技術課)

「定期点検対象施設のID付与に関する参考資料(案)」
(令和元年10月)【国土交通省 HP 掲載資料】

令和6年7月 発行

構成・編集・発行 茨城県土木部道路維持課

一般財団法人 茨城県建設技術公社